



Simply Better Connections

VE8962

4K60p HDMI over IP トランスミッター/
レシーバー(PoE対応)
ユーザーマニュアル

本書 日本語マニュアルについて

この日本語マニュアルは、ATEN International Co., Ltd. が作成した英語版
ユーザーマニュアルをもとに、ATEN ジャパン株式会社が機械翻訳をベース
に作成したドキュメントです。

日本国内のお客様への便宜を図る目的で公開していますが、用語や表現
は機械翻訳による、表記ゆれなどがございます。

本マニュアルには、グローバル共通となる英語版を翻訳したため、日本国
内で取り扱いのない製品情報が含まれる場合があります。

製品の取り扱いや仕様などは日本国内の法規に抵触する内容を除き、基
本的に英語版ユーザーマニュアルが準拠となります。正確性を要する場合
は、本マニュアルは英語版を読む際の補助テキストとしてご利用ください。

なお、内容に不備や誤りなどございましたら、お手数ですが ATENジャパ
ン株式会社までお問い合わせくださいますようお願い申し上げます。

適合性に関する宣言

連邦通信委員会(FEDERAL COMMUNICATIONS COMMISSION INTERFERENCE STATEMENT)

本製品は、FCC(連邦通信委員会)規則のパート15に準拠したデジタル装置クラスAの制限事項を満たして設計され、検査されています。この制限事項は、商業目的の使用において、有害な障害が発生しないよう、基準に沿った保護を提供するためのものです。この操作マニュアルに従わずに使用した場合、本製品から発生するラジオ周波数により、他の通信機器に影響を与える可能性があります。また、本製品を一般住宅地域で使用した場合、有害な電波障害を引き起こす可能性もあります。その際には、ユーザーご自身の負担で、その障害を取り除いてください。

この機器は、FCC規則のパート15に準拠しています。動作は次の2つの条件を前提としています。(1)このデバイスが有害な干渉を引き起こさないこと、(2)このデバイスが、予想外の動作を引き起こす可能性のある干渉を含め、すべての干渉を受け入れなければならないこと。

FCCによる注意事項

本コンプライアンスに対する責任者による明確な承認を得ていない変更または改良を行った場合は、ユーザーの本装置を操作する権利を無効とします。

警告

この装置を居住地域で使用すると、電波干渉を引き起こす可能性があります。

提案

FCCおよびCE規格に準拠するには、製品本体にシールド付きツイストペア(STP)ケーブルを使用する必要があります。



HDMI商標に関する宣言

HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interface、およびHDMIロゴは、HDMI Licensing Administrator, Inc.の商標または登録商標です。



RoHS

本製品は『電気・電子機器に含まれる特定有害物質の使用制限に関する欧州議会及び理事会指令』、通称RoHS指令に準拠しております。

ユーザー情報

オンライン登録

当社のオンラインサポートセンターに必ずお客様の製品を登録してください。

インターナショナル

<http://eservice.aten.com>

電話によるサポート

電話によるサポートは、この番号に電話してください。

インターナショナル	886-2-8692-6959
中国	86-400-810-0-810
日本	81-3-5615-5811
韓国	82-2-467-6789
北米	1-888-999-ATEN ext 4988 1-949-428-1111

ユーザーの皆様へ

製造元は、このマニュアルに記載されているすべての情報・ドキュメント・仕様を、事前の通知なしに変更する場合があります。製造業者は、本契約の内容に関して、明示的または黙示的に表明または保証を行わず、特定の目的のための商業性または適合性に関するいかなる保証も特に放棄します。このマニュアルに記載されている製造元のソフトウェアは、そのまま販売またはライセンスを受けています。購入後にプログラムに欠陥があることが判明した場合、購入者(メーカー、代理店、または販売店を除く)が、必要なすべてのサービス、修理、およびソフトウェアの欠陥に起因する付随的または派生的損害の全費用を負担します。

このシステムの製造元は、この装置に対して許可されていない変更に起因する無線やTVへの干渉には責任を負いません。このような干渉の訂正は、ユーザーの責任です。

動作前に正しい電圧設定を選択していない場合、製造元はこのシステムの動作において被るいかなる損害に対しても責任を負いません。使用前に電圧設定が正しいか確認してください。

製品情報

すべてのATEN製品に関する情報や制限なく接続できる方法については、弊社ウェブサイトにアクセスするか、ATEN販売代理店にお問い合わせください。所在地と電話番号の一覧については、弊社ウェブサイトにアクセスして、ご確認ください。

インターナショナル	http://www.aten.com
北米	http://www.aten-usa.com

同梱品

すべてのアイテムが存在し、動作可能な状態であることを確認してください。問題が発生した場合は、購入元にお問い合わせください。

VE8962T

- ◆ VE8962T本体 × 1
- ◆ RS-232ターミナルブロック × 1
- ◆ 電源アダプター&電源ケーブル × 1
- ◆ クイックスタートガイド × 1

VE8962R

- ◆ VE8962R本体 × 1
- ◆ ターミナルブロック × 1
- ◆ 電源アダプター&電源ケーブル × 1
- ◆ クイックスタートガイド × 1

目次

適合性に関する宣言	i
ユーザー情報	ii
オンライン登録	ii
電話によるサポート	ii
ユーザーの皆様へ	ii
製品情報	iii
同梱品	iv
VE8962T	iv
VE8962R	iv
目次	v
本マニュアルについて	ix
マニュアル表記について	x
 第1章 はじめに	1
概要	1
特長	2
超低遅延の軽量圧縮	2
複数の冗長メカニズム	2
高い拡張性と柔軟性	2
IP設定が簡単	3
ウェブGUIベースの管理機能 - サーバーPCの追加やソフトウェアは不要	3
自発的なスケジューリング管理	3
大規模展開向けにデイジーチェーン方式を採用した スケーラブルなディスプレイネットワーク	3
ビデオウォール対応	4
オーディオのエンベデッド/ディエンベデッドをサポート	5
さまざまな操作インターフェースに対応	5
ATENコントロールシステムとの連携	5
高度なセキュリティー保護	6
はじめにやるべきこと	7

第2章 ハードウェアのセットアップ	8
製品各部名称	8
VE8962T フロントパネル	8
VE8962T リアパネル	9
VE8962T トップパネル	10
VE8962R フロントパネル	11
VE8962R リアパネル	12
VE8962R トップパネル	13
VE8962の取り付け	14
壁への取り付け	14
ラックへのマウント	14
VE8962の接続	15
 第3章 パネルの操作	18
概要	18
基本操作	19
ロック画面	19
画面ロックとバックライトの動作	21
メインメニュー	22
VE8962T	22
VE8962R	23
デバイスIDの設定(トランシミッター/レシーバー)	24
システムメニュー	25
情報ページ	26
デフォルトへのリセット	27
再起動	29
VE8962Rへの入力ビデオソースの割り当て	30
ステータスの表示	32
ファームウェアアップグレード	32
復旧モード	32
ファインダー	33
 第4章 ブラウザーのウェブ操作	34
概要	34

対応ブラウザー	34
はじめに	35
デバイスのIPアドレスの確認	35
ログイン	37
メイン画面	41
デバイス	43
デバイスの追加	45
デバイスリスト	47
トランスマッタータブ	49
クリック設定メニュー	50
アクションメニュー	53
ルームの管理	54
ルームの新規作成	55
既存ルームの編集・削除	60
ルームの設定	61
ツールバー	63
背景設定	71
レシーバー/ビデオウォールの管理	72
ソースパネルの制御	77
プロファイルの管理	79
プロファイルの作成	79
プロファイルの編集・削除	81
プロファイルスケジュールの設定	82
マトリックス	85
オーディオ	85
USB	87
IR / RS-232	88
スケジュール	90
タスクスケジュールの作成	91
スケジュールタスクの管理	93
ユーザー	94
ユーザー ロールの種類	94
ユーザー アカウントの管理	95
メンテナンス	97
全般設定	97
ファームウェアアップグレード	100

バックアップと復元	101
付録	102
安全にお使いいただくために	102
全般	102
ラックへのマウント	104
技術サポート	105
インターナショナル	105
北米	105
仕様	106
VE8962T	106
VE8962R	109
対応ブラウザー	112
ATEN保証ポリシー	113

本マニュアルについて

このユーザーマニュアルは、VE8962を最大限に活用するために提供されたドキュメントで、製品本体の取り付け・セットアップ・操作の方法について解説します。本書は下記のとおりに構成されています。

第1章 はじめに: VE8962のトランスマッター/レシーバーの機能と用途について説明します。

第2章 ハードウェアのセットアップ: 製品各部名称とその機能を紹介します。また、ハードウェアのセットアップ手順を段階的に説明します。

第3章 パネルの操作: LEDインジケーターの情報とパネルプッシュボタンの機能を提供します。

第4章 ブラウザーの操作: ブラウザーの操作画面である「VEマネージャー」のメインインターフェースを紹介し、表示レイアウトの作成と編集の手順を詳しく説明します。また、全般的な設定や、VE8962システムファームウェアのバックアップ・復元・アップグレードの方法についても解説します。

付録: 製品の安全指示、技術サポートの詳細、および製品仕様を提供します。

注意:

- ◆ 製品本体や接続機器の破損を防ぐために、必ず、本マニュアルの内容に従ってセットアップや操作を行ってください。
 - ◆ マニュアルの公開後に、製品の機能や特長が追加・改良・削除されると、内容がアップデートされる場合があります。最新の取扱説明書については、
<http://www.aten.com/global/en> でご確認ください。
-

マニュアル表記について

このマニュアルでは、次の規則を使用します。

[] 入力するキーを示します。例えば[Enter]はEnterキーを押します。
複数のキーを同時に押す場合は、[Ctrl] + [Alt]のように表記して
あります。

1. 番号が付けられている場合は、番号に従って操作してください。

◆ 印は情報を示しますが、作業の手順ではありません。

> 矢印は操作の手順を示します。矢印は操作の手順を示します。
例えば、「スタート」>「実行」は、「スタート」メニューを開き、「実
行」を選択する操作を表します。



重要な情報です。

第1章 はじめに

概要

ATEN IPビデオエクステンダー VE8962は、トランスマッター(VE8962T)とレシーバー(VE8962R)で構成され、4K60(4:4:4)対応のHDMI映像に加え、オーディオ、USB 2.0、IR、RS-232を1本のCat 5e/6ケーブルまたは光ファイバー経由で低遅延伝送できるエクステンダーです。高度な圧縮技術を採用しており、高画質と低遅延を両立します。

電源はDC入力とPoEの冗長構成に対応し、ネットワークもLANケーブルと光ファイバーのどちらでも構成できるため、運用の信頼性を高めることができます。制御はWeb GUI、RS-232、双方向IR、Telnet、前面プッシュボタンなど複数手段を用意しています。

内蔵スケーラーにより入力映像を最大4096×2160@60Hzへアップスケールでき、あらゆるディスプレイで最適な画質を実現します。オーディオはHDMIへのエンベデッド／ディエンベデッドの双方に対応し、映像とは独立した音声出力にも利用できます。

VE8962はUSB 2.0デバイスの接続をサポートしており、遠隔地からUSB周辺機器を利用可能です。レシーバー側(VE8962R)にはローカルHDMI入力と入力切替ボタンを搭載し、運用の柔軟性を向上させています。

また、最大80台のディスプレイによるAVマトリックススイッチングとビデオウォールを構築でき、横置き・縦置きを自由に組み合わせたレイアウトにも対応します。大規模・マルチディスプレイ・4K伝送といった現場ニーズに特化して設計されており、シンプルなネットワーク構成でフロアや建物間の信号伝送が可能です。

展示会場、交通機関、文教・商業施設など、広範な用途で高い拡張性と信頼性を提供するソリューションです。

特長

超低遅延の軽量圧縮

- ◆ LAN経由で4K60pのHDMI信号を低遅延で延長 - 1対1の接続ではCat 5e/6ケーブル1本で最大100m延長、または光ファイバーケーブル1本で最大10km延長
- ◆ 最大4096 × 2160 @ 60Hz(4:4:4)の高品質ビデオを視覚的なロスを抑えて伝送
- ◆ HDR 10をサポート。また、HDCP 2.2/2.3に準拠しコンテンツの不正コピーを防止
- ◆ 個別のステレオオーディオと各種HDMIオーディオフォーマットに対応 (LPCM 7.1CH、Dolby True HD、Dolby Digital Plus、DTS-HD Master Audioを含む)
- ◆ EDID Expert™対応 - スムーズな電源投入、高品質な表示、各種画面での最適なビデオ解像度が実現できるように、最適なEDID設定を選択

複数の冗長メカニズム

- ◆ 冗長電源 - DC電源ジャックとPoEの両方から給電されている場合は冗長電源を自動的に適用。IEEE 802.3at規格準拠
- ◆ 冗長over IP - 銅線ケーブルと光ファイバーケーブルを通じて信号をIP経由で伝送(両方使用している場合は銅線ケーブルを優先)
- ◆ 冗長操作 - ユーザーフレンドリーなウェブGUIと複数の操作方法を提供

高い拡張性と柔軟性

- ◆ LANケーブル直結の1対1接続から、要件を満たすネットワークスイッチ経由での多対多の機器構成に対応
- ◆ エクステンダー、分配器、マトリックススイッチャー、ビデオウォール、ディジーチーンなど、さまざまな用途で利用可能
- ◆ 4K60pスケーラー内蔵 - 入力解像度を最適な表示解像度に変換
- ◆ 8KV/15KV ESD保護機能搭載
- ◆ ラックマウント対応

IP設定が簡単

- ◆ ITの専門知識や追加の学習を必要としないシンプルな設定
- ◆ ID番号の割り当てで迅速なセットアップを実現。複雑なIP設定は不要
- ◆ トップパネルのプッシュボタンのID番号により入力ソースの切り替えが簡単

ウェブGUIベースの管理機能

- サーバーPCの追加やソフトウェアは不要

- ◆ 直感的なウェブGUIを使った統合管理 - 主要なOSで動作可能
- ◆ 機器の検索が簡単(ウェブGUIのログイン後に表示される「デバイスの追加」画面から操作)
- ◆ 画像とコンテキスト化されたウェブGUIを使った操作 - ユーザーは環境画像をコントロールルームに直感的にインポートすることで実用的な使用法を分類可能
- ◆ ソースをウェブGUI上でスムーズかつ鮮明に720pでプレビュー

自発的なスケジューリング管理

- ◆ 使いやすいスケジュール管理機能 - ユーザーは表示スケジュールを事前に作成可能
- ◆ 強力で直感的なスケジュール管理オプション - カレンダー内の全イベントを分間隔で設定するなど、詳細な管理が可能
- ◆ 機器をすべて統合し、個々のレシーバーまたはビデオウォールをグループ化してプロファイルを配置
- ◆ 複数のプロファイルを、選択期間内に任意の順序で再生するように設定可能

大規模展開向けにデイジーチェーン方式を採用した

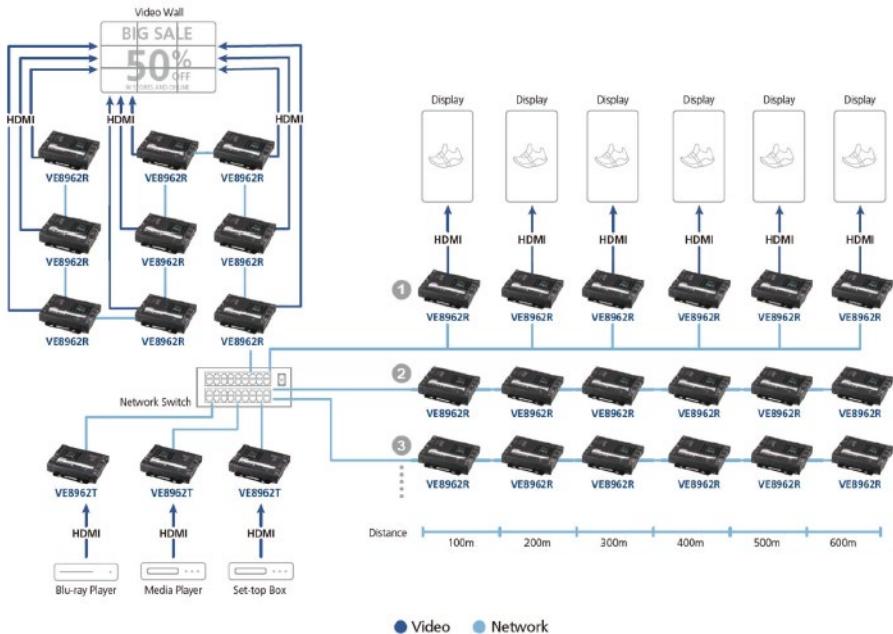
スケーラブルなディスプレイネットワーク

- ◆ レシーバーユニット同士をLANケーブルによるデイジーチェーン接続で連結可能
- ◆ 複数のディスプレイを1つのポートに接続することで、ネットワークスイッチのすべてのポートを最大限に活用

- ◆ 拡張が簡単 - 大規模なネットワークスイッチが不要で、ケーブルも少なくて済むため、配線とシステム展開が容易
- ◆ 光ファイバーケーブル経由の延長は数百メートルに及ぶ大規模な導入に最適（展示会、空港、大学キャンパス、会議センター、ショッピングセンターなど）

注意:

デイジーチェーン接続に対応しているのは銅線ケーブルのみです。



ビデオウォール対応

- ◆ 最大8×10面のビデオウォールをサポート（ディスプレイ80台で構成）
- ◆ 縦配置のディスプレイに回転表示可能（90度および270度）
- ◆ 直感的なウェブGUIを使用して、レイアウトプロファイルの切り替え、プレビューの表示、ドラッグ & ドロップによる動画ソースの操作が可能
- ◆ マルチスクリーンコントロール対応 - マウスカーソルを画面間で移動させること

で、コンピューター間の操作を直感的に切り替え可能*

注意:

将来的なファームウェアで対応予定です。

オーディオのエンベデッド/ディエンベデッドをサポート

- ◆ トランスマッター側 - 別のステレオオーディオ信号をHDMIストリームに埋め込み可能
- ◆ レシーバー側 - HDMIストリームからオーディオストリームを抽出し、別のオーディオ信号として伝送可能
- ◆ オーディオマトリックス - トランスマッターとレシーバーを選択してオーディオをルーティングし、柔軟なシステム構築を実現

さまざまな操作インターフェースに対応

- ◆ ローカルHDMI入力をサポート(VE8962R) - 接点入力ボタンにより、レシーバーのローカル入力とリモートのソース入力を簡単に切り替え可能
- ◆ LCMディスプレイ - エクステンダーのID、IPアドレス、機器の状態を、本体トップパネルのLCMディスプレイで確認可能
- ◆ USB接続 - USBポート(USB 2.0)には、キーボード、マウス、タッチスクリーン、フラッシュドライブ、プリンター、その他のUSB周辺機器などを接続可能
- ◆ 双方向IRチャンネル - IR伝送は一度に一方向ずつ処理
- ◆ RS-232チャンネル - 双方向RS-232シリアルポートに、タッチスクリーンやバーコードスキャナーなどの周辺機器を接続可能
- ◆ Telnet/CLI/SSH対応 - ブラウザ以外でVE8962の設定や切り替えが可能

ATENコントロールシステムとの連携

- ◆ 統合ソリューション - ATENコントロールシステムと互換。CLI/Telnet/RS-232経由でVE8962T/VE8962Rを直接操作可能
- ◆ 操作が簡単 - タッチパネルとキーパッドを使用して、VEマネージャー、テレビ、プロジェクター、ソースプレーヤー、関連機器をクリックで効率的に操作

注意:

ネットワークアーキテクチャーに関連する問題が発生した場合は、「ATEN HDMI over IP ビデオエクステンダー システム実装ガイド」を参照するか、ATENの担当者にお問い合わせください。

高度なセキュリティー保護

- ◆ AES-256暗号化をSRTP(Secure Real-time Transport Protocol)によるAVストリーミングに適用
- ◆ HTTPSによるセキュア通信

はじめにやるべきこと

VE8962を使用するにあたり、以下の手順に従って設定を行ってください。

1. ネットワーク構成を確定します。詳細については、「ATEN HDMI over IP ビデオエクステンダー システム実装ガイド」を参照してください。本製品はマルチキャストパケット通信を使用します。各ネットワークスイッチの設定が適切ではない場合は、ネットワークスイッチを増設しただけでは動作しないだけではなく、システム全体が停止するおそれがありますので、ご注意ください。
2. VE8962を壁またはラックに取り付けます。詳細については、p.14「VE8962の取り付け」を参照してください。
3. VE8962をソース機器、ディスプレイ、ネットワークスイッチなどに接続します。詳細については、p.15「VE8962の接続」にある接続図を参照してください。
4. 次のいずれかの方法で、トランスマッターとレシーバーを組み合わせます。

注意:

初期設定のままVE8962をLANケーブルで直結して使用する場合(ポイントツーポイント接続)は、この手順を省略してください。この設定では、ソース入力が自動的に割り当てられます。

-
- ◆ トランスマッターとレシーバーの各液晶画面とボタンを使用して、デバイスごとにID番号(トランスマッターIDとレシーバーID)を割り当てます。
 - ◆ 番号を割り当てたら、各レシーバーで、接続先となるトランスマッターのID番号を指定します。詳細については、p.30「VE8962Rへの入力ビデオソースの割り当て」を参照してください。
 - ◆ ブラウザーを使用して入力ソースを割り当てます。詳細については、p.74「ソースの割り当て」を参照してください。

第2章 ハードウェアのセットアップ

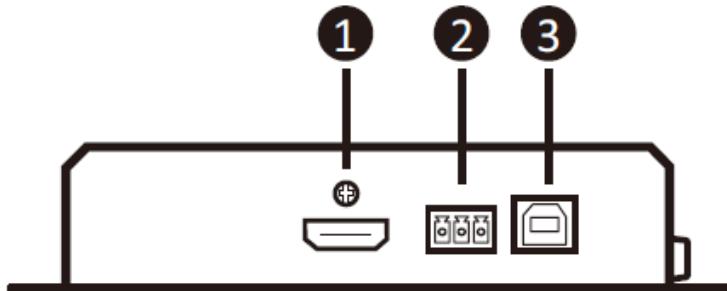


VE8962を使ってシステムを構築する前に、次の点をご確認ください。

1. 設置に関する安全上の注意事項(p.102)を参照してください。
2. ケーブルの接続が終わるまで、VE8962本体に電源を入れないでください。

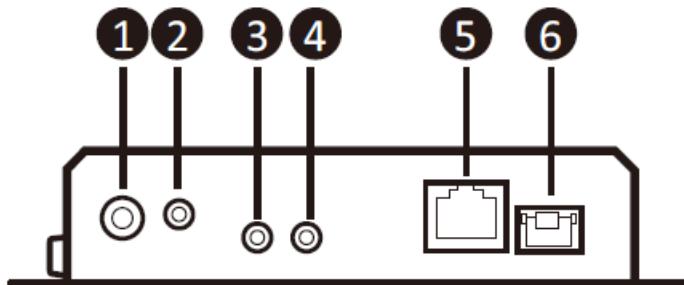
製品各部名称

VE8962T フロントパネル



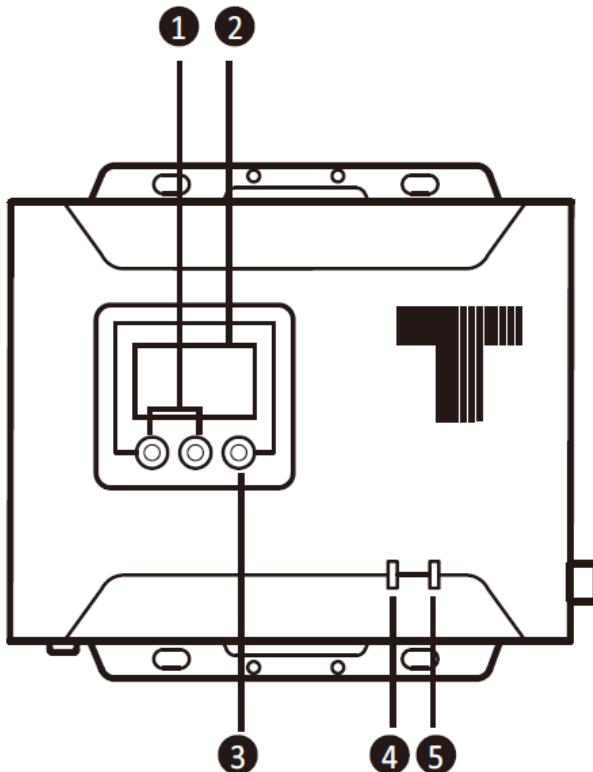
番号	名称	機能
1	HDMI入力	HDMIケーブルを使用してソース機器に接続します。
2	RS-232シリアルポート	RS-232インターフェースのシリアルデバイスや周辺機器に接続します。
3	USB Type-Bポート	ソース機器(例:PC / Mac)に接続します。

VE8962T リアパネル



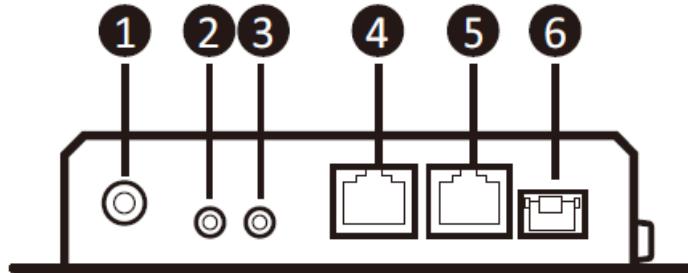
番号	名称	機能
1	電源ジャック	同梱品のDC電源アダプター用のジャックです。
2	オーディオ入力	オーディオソース機器に接続します。
3	IR出力	リモコン用としてIR送信機に接続します。
4	IR入力	リモコン用としてIRレシーバーに接続します。
5	PoE対応RJ-45ポート (LAN 1)	LANケーブルでイーサネットスイッチまたはVE8962RのPoE対応RJ-45ポート(LAN 1)に接続します。
6	SFPポート	光ファイバーケーブルでVE8962RのSFPポートに接続します。 注意: SFPモジュールは別売りです。製品情報については、ATEN販売店にお問い合わせください。

VE8962T トップパネル



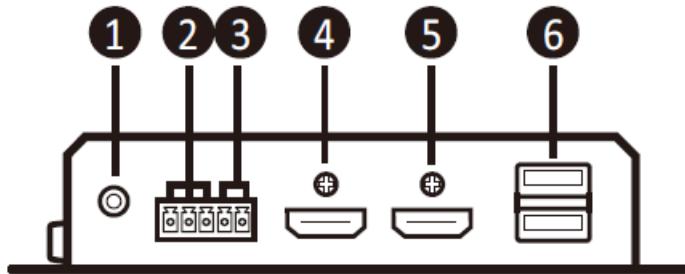
番号	名称	機能
1	前へ/次へ ボタン	VE8962に対してIDを割り当てたり、VE8962Tの入力ソースをVE8962Rに割り当てたりするのに使用します。
2	LCD表示パネル	機器の基本情報(ID、IPアドレス、ファームウェアバージョンなど)を表示します。
3	ENTERボタン	操作の決定に使用します。
4	PoE LED	PoEで給電されていると、緑色で点灯します。
5	DC入力LED	DC電源から受電していると、緑色で点灯します。

VE8962R フロントパネル



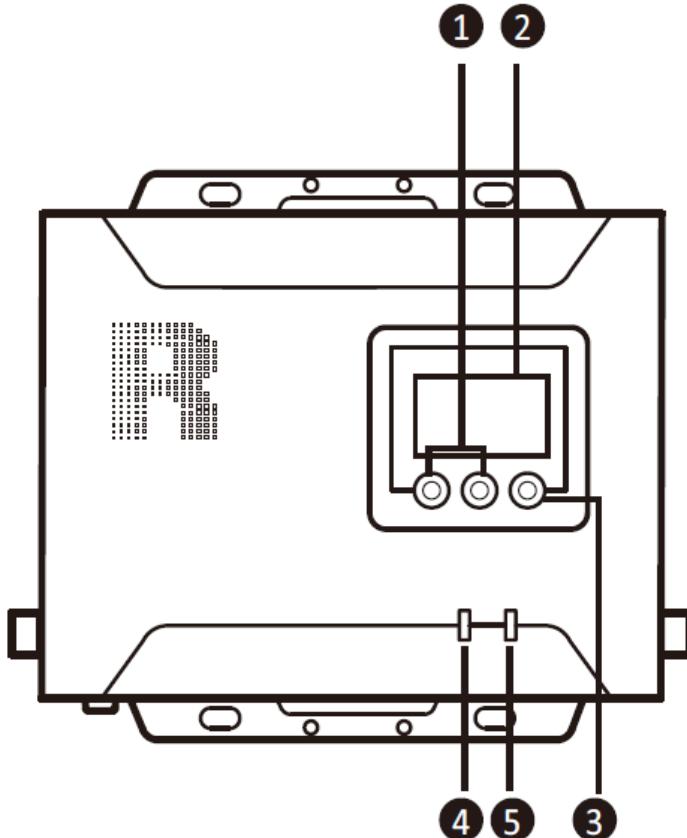
番号	名称	機能
1	電源ジャック	同梱品のDC電源アダプター用のジャックです。
2	IR出力	リモコン用としてIR送信機に接続します。
3	IR入力	リモコン用としてIRレシーバーに接続します。
4	PoE対応RJ-45ポート (LAN 1)	LANケーブルでイーサネットスイッチまたはVE8962RのPoE対応RJ-45ポート(LAN 1)に接続します。
5	RJ-45ポート(LAN 2)	LANケーブルで次のVE8962RのRJ-45ポート(LAN 2)に接続し、 デイジーチェーン接続を行います。
6	SFPポート	光ファイバーケーブルでVE8962TのSFPポートに接続します。 注意:SFPモジュールは別売りです。製品情報については、ATEN販売店にお問い合わせください。

VE8962R リアパネル



番号	名称	機能
1	オーディオ出力	オーディオ出力デバイスに接続します。
2	RS-232シリアルポート	RS-232インターフェースのシリアルデバイスや周辺機器に接続します。
3	コンタクトポート(+ / GND)	オプションのアクセサリーである有線リモコン(日本未発売)を接続して、VE8962Rに接続されたビデオソースまたはネットワーク上のリモートソースを切り替えます。 注意: 有線リモコン(日本未発売)は別売りです。製品情報については、ATEN販売店にお問い合わせください。
4	HDMI出力	HDMIケーブルでディスプレイに接続します。
5	HDMI入力	HDMIケーブルでソース機器に接続します。
6	USB Type-Aポート	USB周辺機器(キーボードとマウス)に接続します。

VE8962R トップパネル

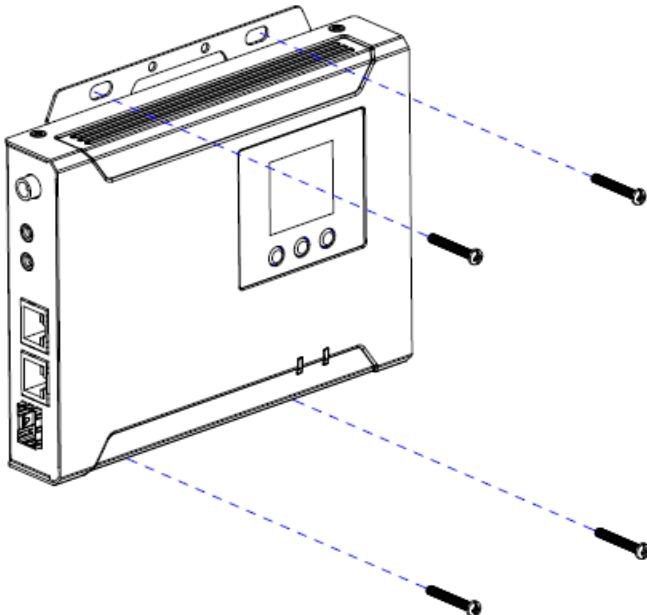


番号	名称	機能
1	前へ/次へ ボタン	VE8962に対してIDを割り当てたり、VE8962Tの入力ソースをVE8962Rに割り当てたりするのに使用します。
2	LCD表示パネル	機器の基本情報(ID、IPアドレス、ファームウェアバージョンなど)を表示します。
3	ENTERボタン	操作の決定に使用します。
4	PoE LED	PoEで給電されていると、緑色で点灯します。
5	DC入力LED	DC電源から受電していると、緑色で点灯します。

VE8962の取り付け

壁への取り付け

付属のブラケットを使用してVE8962を壁に固定するか、壁から吊り下げます。

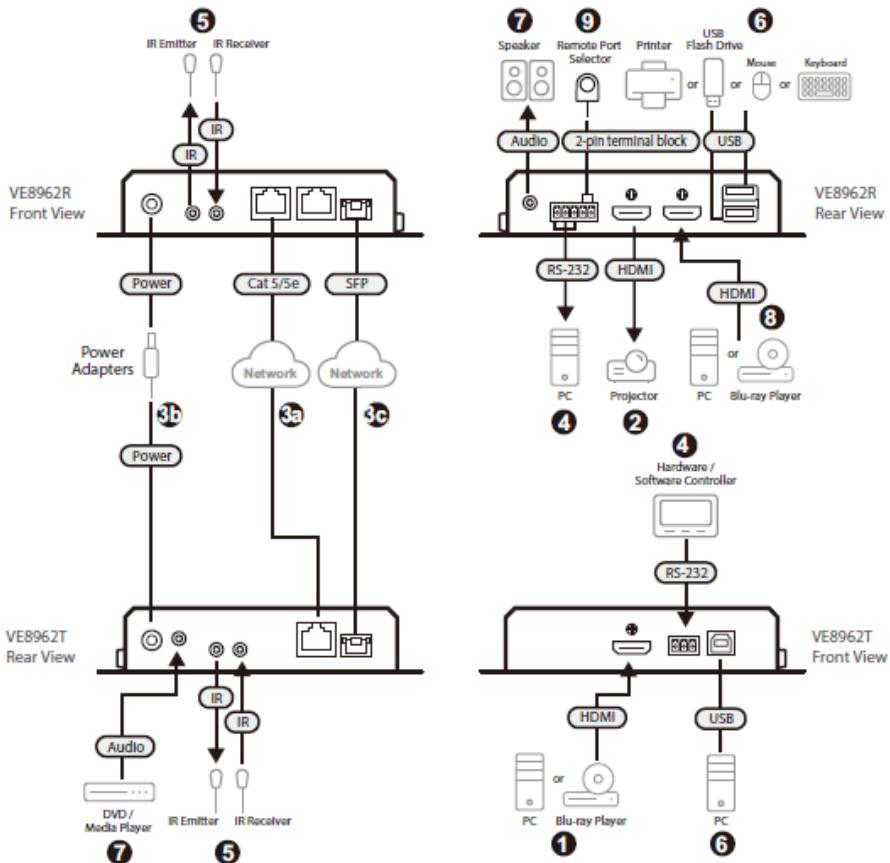


ラックへのマウント

VE8962をラック内の空間で効率的に取り付けるには、ラックマウントキット「VE-RMK1U」を使用します。このアクセサリーの詳細については、www.aten.com/products を参照してください。

VE8962の接続

VE8962を、必要に応じて以下の手順でセットアップしてください。



1. VE8962TのフロントパネルのHDMI入力ポートに、HDMIケーブルでビデオ入力機器を接続します。
2. VE8962RのリアパネルのHDMI出力ポートに、HDMIケーブルでディスプレイを接続します。
3. VE8962に対する次のセットアップ作業を行います。上図はポイントツーポイントの機器構成を示しています。

- ◆ ポイントツーポイントのセットアップ:

- a) イーサネットケーブルの片方の端をVE8962RのフロントパネルにあるPoE対応RJ-45ポート(LAN 1)に接続し、もう片方の端をVE8962TのリアパネルにあるPoE対応RJ-45ポート(LAN 1)に接続します。
- b) VE8962RのフロントパネルとVE8962Tのリアパネルにある電源ジャックに電源アダプターを差し込みます。
- c) 光ファイバーケーブルの片方の端をVE8962RのフロントパネルのSFPポートに接続し、もう片方の端をVE8962TのリアパネルのSFPポートに接続します。

注意:

SFPモジュールは別売りです。製品情報については、ATEN販売店にお問い合わせください。

- ◆ マルチポイントツーマルチポイントのセットアップ:

- a) VE8962RのフロントパネルとVE8962TのリアパネルにあるPoE対応RJ-45ポート(LAN 1)を、イーサネットケーブルでイーサネットスイッチに接続し、VE8962RとVE8962Tを同じローカルエリアネットワークにセットアップします。
 - b) VE8962Rは、PoE対応イーサネットスイッチに接続されると、イーサネットケーブルを通じて給電できます。電源を冗長化する場合は、VE8962RのフロントパネルとVE8962Tのリアパネルにある電源ジャックに電源アダプターを差し込みます。
 - c) この手順の(a)に従って、VE8962のSFPポートを光ファイバーケーブル経由でイーサネットスイッチに接続します。ネットワークを冗長化する場合は、PoE対応RJ-45ポート(LAN 1)とSFPポートの両方を接続することができます。
4. (オプション) RS-232信号をバイパスする場合、コンピューターまたは制御システムを、VE8962RのリアパネルとVE8962TのフロントパネルにあるRS-232シリアルポートに接続します。

注意:

VE8962には、RS-232インターフェースのシリアルデバイスや周辺機器(PCなど)を接続することができます。

5. (オプション) IR信号をバイパスする場合は、IRレシーバーとIR送信ユニットを接続します。IR入出力ポートは、VE8962Rではフロントパネルに、また、VE8962Tではリアパネルに、それぞれ配置されています。

注意:

IRレシーバーとIR送信ユニットは別売りです。製品情報については、ATEN販売店にお問い合わせください。

6. (オプション) キーボードとマウスを使用する場合は、キーボードやマウスなどのUSB周辺機器をVE8962RのリアパネルにあるUSB Type-Aポートに接続し、PCをVE8962TのフロントパネルにあるUSB Type-Bポートに接続します。
7. (オプション) オーディオデバイスをVE8962Rのリアパネルにあるオーディオ出力ポートとVE8962Tのリアパネルにあるオーディオ入力ポートに接続します。
8. (オプション) 2台目のビデオソース機器がある場合は、HDMIケーブルでVE8962RのリアパネルにあるHDMI入力ポートに接続します。
9. (オプション) VE8962Rに接続されたビデオソースまたはネットワーク上のリモートソースを切り替える場合は、オプションのアクセサリーであるワイヤードリモコン(日本未発売)を接続します。

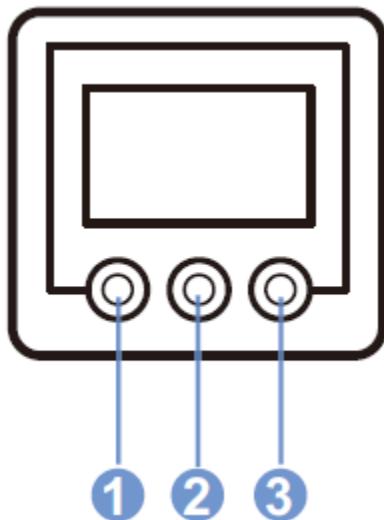
注意:

ワイヤードリモコン(日本未発売)は別売りです。製品情報については、ATEN販売店にお問い合わせください。

第3章 パネルの操作

概要

VE8962のフロントパネルにはLCD表示と3つのナビゲーションボタンがあります。ユーザーは、これらを使って機器本体の設定を表示・構成することができます。ボタンの機能は以下のとおりです。



番号	ボタン	説明
1	前へ	LCDに表示されたリストで、前の項目に移動します。一度押すと1つ上の項目に移動します。また、押し続けると、連続して上方向にスクロールします。
2	次へ	LCDに表示されたリストで、次の項目に移動します。一度押すと1つ下の項目に移動します。また、押し続けると、連続して下方向にスクロールします。
3	ENTER	選択操作を確定します。

基本操作

ロック画面

VE8962T

VE8962Tの電源がオンになるとLCDにロック画面が表示され、以下の情報を確認できます。



番号	項目	説明
1	ネットワーク接続	この機器のネットワークの接続状態を示します。 <ul style="list-style-type: none">◆ オンライン: ネットワークに接続されています。◆ オフライン: ネットワーク接続が検出されません。
2	デバイスID	トランスマッターのIDを表示します。デフォルト値はT000です。
3	デバイスIPアドレス	トランスマッターの現在のIPアドレスを表示します。
4	ロックメッセージ	「3秒間押すとロック解除」というメッセージが表示されたときに、任意のボタンを3秒間押し続けると、パネルのロックを解除し、メインメニューに入ることができます。p.22「メインメニュー」を参照してください。

VE8962R

VE8962Rの電源がオンになるとLCDにロック画面が表示され、以下の情報を確認できます。



番号	項目	説明
1	ネットワーク接続	この機器のネットワークの接続状態を示します。 <ul style="list-style-type: none">◆ オンライン: ネットワークに接続されています。◆ オフライン: ネットワーク接続が検出されません。
2	デバイスID	レシーバーのIDを表示します。デフォルト値はR0000です。
3	デバイスIPアドレス	レシーバーの現在のIPアドレスを表示します。
4	入力チャネル	接続されたトランスマッター(Tx)のIDを表示します。「N/A」と表示された場合は、トランスマッターがネットワーク上に存在していません。

番号	項目	説明
5	HDMI出力	HDMI出力状態を示します。 <ul style="list-style-type: none"> ◆ 安定点灯:通常の出力です。 ◆ 不安定:信号の変動が見られます。 ◆ 信号なし:ソースが検出されていません。
6	ロックメッセージ	「3秒間押すとロック解除」というメッセージが表示されたときに、任意のボタンを3秒間押し続けると、パネルのロックを解除し、受信リストページへ進みます。p.22「メインメニュー」を参照してください。

画面ロックとバックライトの動作

VE8962のLCD画面がロックモードに入ると、以下のように動作します。

バックライトの動作

- ◆ ロック画面で10秒間操作がないとバックライトが自動的に消灯します。
- ◆ バックライトを起動するには、任意のボタンを1回押します。
- ◆ 10秒以内に操作が行われない場合、バックライトは再び消灯します。

画面のロック解除

- ◆ 画面のロックを解除するには、任意のボタンを3秒間長押しします。
- ◆ ロックを解除すると、画面はアクティブな状態を維持し、タイマーをリセットします。

手動ロック

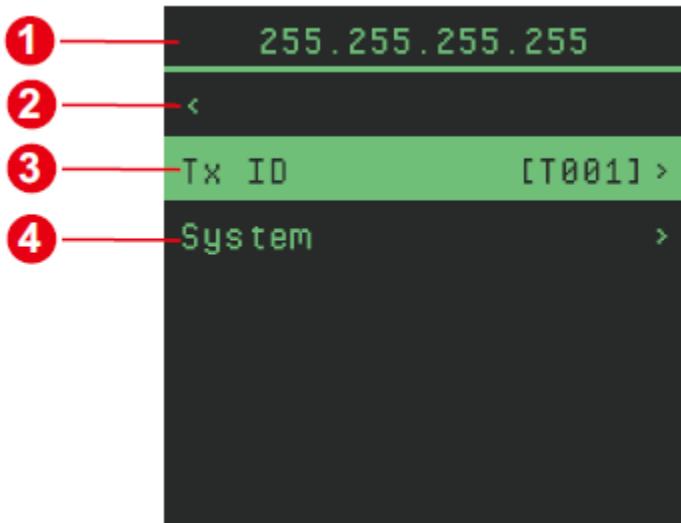
- ◆ (任意のページで)画面を手動でロックするには、任意のボタンを3秒間長押しします。
- ◆ 画面がロックされている場合、10秒間操作がないとバックライトが自動的に消灯します。任意のボタンを1回押すと、画面のロックを解除せずにバックライトが点灯します。

メインメニュー

ロックが解除されると、機器のIPアドレスと利用可能な設定がメインメニューに表示されます。

VE8962T

VE8962Tのメインメニューには以下が表示されます。

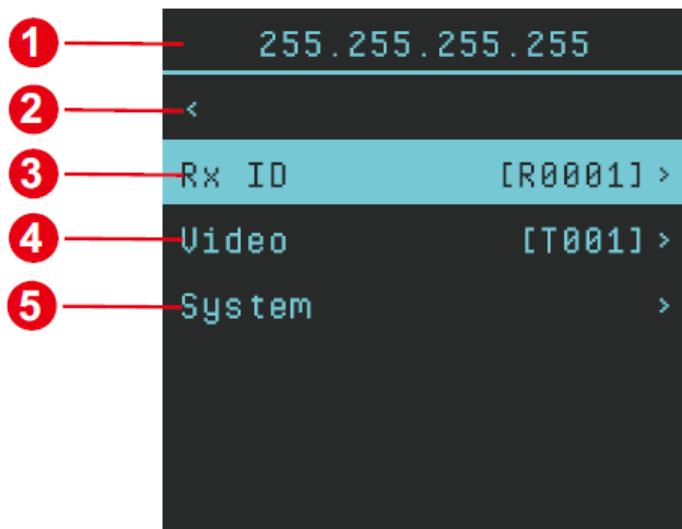


番号	項目	説明
1	IPアドレス	トランスマッターのIPアドレスを表示します。
2	戻る	前のページに戻ります。
3	トランスマッターID	現在のデバイスIDを表示します。Enterを押すと、トランスマッターのIDを変更します。
4	システム	システム設定メニューを開いて、設定とステータスを確認できます。

ナビゲーションボタン(前へ/次へ)を操作すると、オプションを参照します。また、Enterを押すと、操作を確定します。

VE8962R

VE8962Rのメインメニューには次の項目が表示されます。



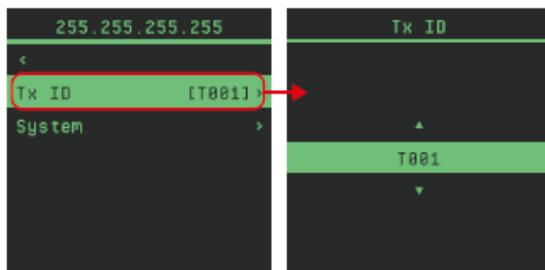
番号	項目	説明
1	IPアドレス	レシーバーのIPアドレスを表示します。
2	戻る	前のページに戻ります。
3	レシーバーID	現在のデバイスIDを表示します。Enterを押すと、レシーバーのIDを変更します。
4	ビデオ	接続されたトランミッターのIDを表示します。Enterを押すと、ビデオソースを再度割り当てます。
5	システム	システム設定メニューを開いて、設定とステータスを確認できます。

ナビゲーションボタン(前へ/次へ)を操作すると、オプションを参照します。また、Enterを押すと、操作を確定します。

デバイスIDの設定(トランスマッター/レシーバー)

VE8962のIDを設定するには、以下の手順に従ってください。

1. メインメニューから「Tx ID」または「Rx ID」項目を選択して、ID選択画面に入ります。



2. ナビゲーションボタン(前へ/次へ)を使用して、利用可能なIDをスクロールします。
 - ◆ 利用可能なIDの範囲:
 - ◆ トランスマッター:T001～T999
 - ◆ レシーバー:R0001～R1599
 - ◆ 1画面に表示できる数を超えるIDがある場合、強調表示された行の上または下に三角アイコンが表示されます。

注意:

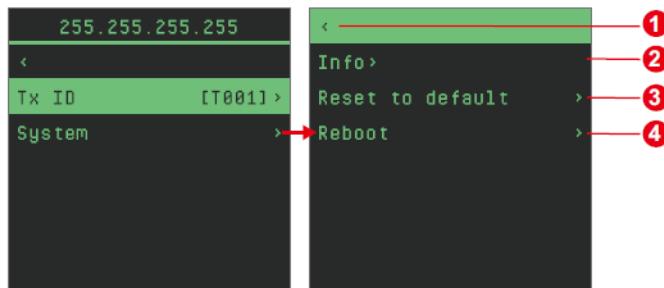
ナビゲーションボタンを長押しすると、メニュー選択の速度が上がります。

3. 「Enter」ボタンを押して確認画面に進みます。
4. 確認画面では、次の操作が行えます。
 - ◆ 「OK」を選択して「Enter」を押すと、選択したIDを適用してメインメニューに戻ります。
 - ◆ 「Cancel」を選択して「Enter」を押すと、変更を破棄してメインメニューに戻ります。



システムメニュー

「システム」メニューでは、デバイス情報にアクセスし、基本的なメンテナンス操作が行えます。

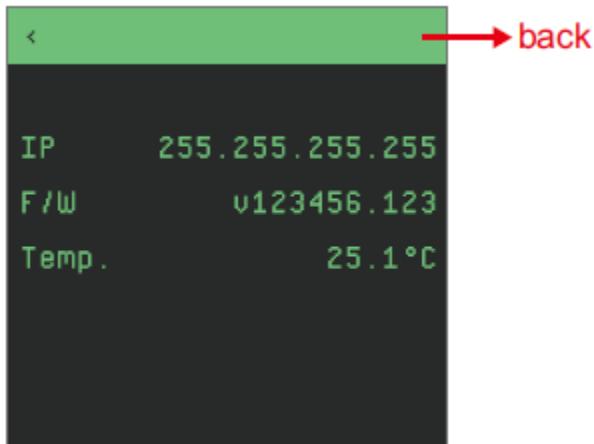


番号	項目	説明
1	戻る	前のページに戻ります。
2	情報	情報ページを開きます。表示項目は以下のとおりです。 <ul style="list-style-type: none">◆ IPアドレス◆ フームウェアバージョン◆ デバイス温度
3	デフォルトへのリセット	機器本体を工場出荷時の設定に戻します。
4	再起動	ソフトウェアのリセットによる再起動を実行します。

ナビゲーションボタン(前へ/次へ)を操作すると、項目を参照します。また、Enterを押すと、対応するページにアクセスします。

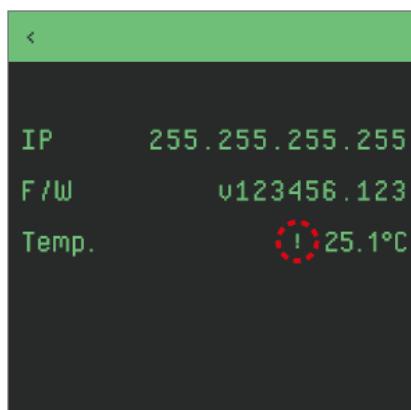
情報ページ

「情報」ページには現在のシステムステータスが表示されます。



項目	説明
戻る	1つ前のメニューに戻ります。
IP	製品本体の現在のIPアドレスを表示します。
ファームウェア	ファームウェアバージョンを表示します。
温度	現在の内部温度を示します。

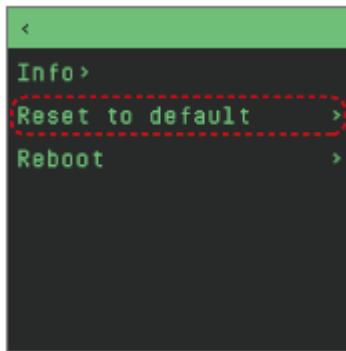
温度がしきい値を超えると、温度値の横に警告アイコンが表示されます。



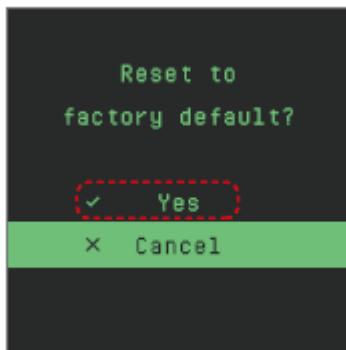
デフォルトへのリセット

VE8962を工場出荷設定に戻すには、次の手順で操作してください。

1. ナビゲーションボタン(前へ/次へ)を使用して「デフォルトにリセット」を選択し、「Enter」ボタンを押します。

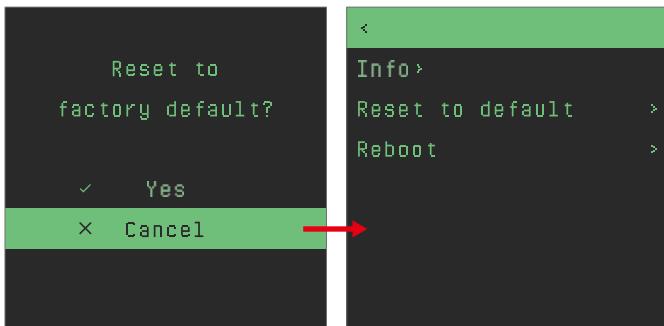


2. 確認画面で「OK」を選択してリセットを実行します。

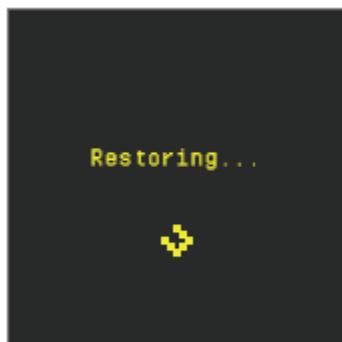


注意:

「キャンセル」を選択すると、システムオプションメニュー画面に戻ります。



-
3. 初期化には数秒程度の時間を要します。完了すると、製品本体が再起動し、メインメニュー画面に移動します。



再起動

VE8962でソフトウェアのリセットを行うには、システムオプションメニューにアクセスし、「再起動」を選択して操作を確定します。

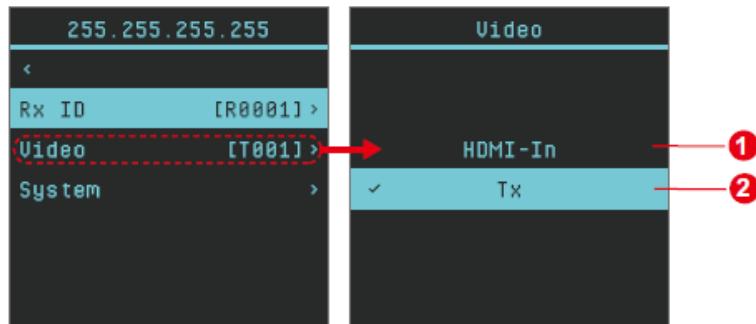


VE8962Rへの入力ビデオソースの割り当て

VE8962Rにビデオ入力を割り当てるには、以下の手順に従ってください。

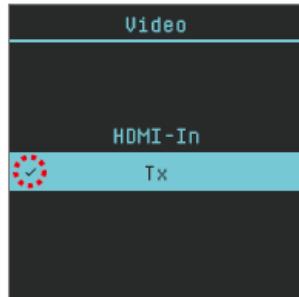
ビデオメニューへのアクセス

1. VE8962Rのメインメニューから「ビデオ」を選択して、ビデオ入力設定画面に移動します。



番号	項目	説明
1	HDMI入力:	このVE8962RのHDMI入力ポートに接続されたデバイスのビデオソースを選択します。
2	Tx	同じネットワーク上のVE8962Tからビデオソースを選択します。ビデオメニューにアクセスして、ビデオソースを選択してください。

選択中のビデオには、チェックマークが付きます。

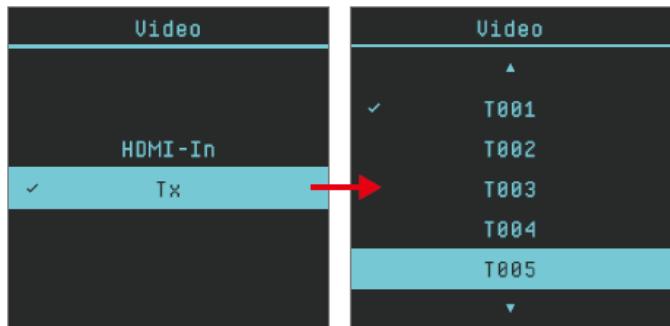


ビデオソースの選択

2. 次のオプションから1つを選択できます。

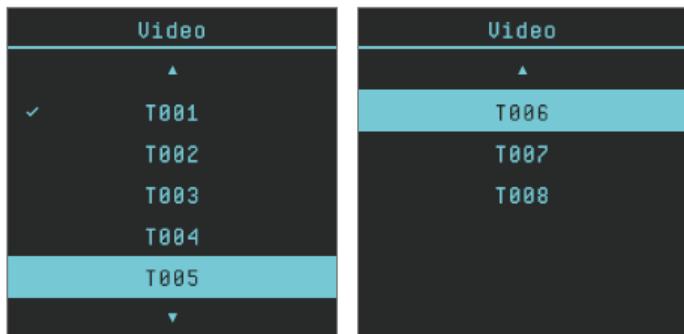
- ◆ HDMI入力:

このオプションを選択すると、このVE8962RのHDMI入力ポートに接続された機器の映像ソースを使用します。



- ◆ トランシッター:

このオプションを選択すると、同じネットワークに接続されたVE8962Tのビデオソースを使用できます。利用可能な送信IDから選択してください。



注意:

ナビゲーションボタンを長押しすると、メニュー選択の速度が上がります。

ステータスの表示

ファームウェアアップグレード

VE8962のファームウェアアップグレードの実行中に、現在の進捗状況を示します。



下部にあるバーは、処理が完了するまでパーセンテージの値で動的に更新されます。

復旧モード

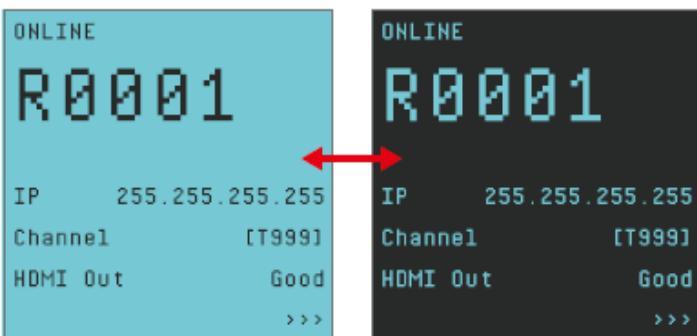
VE8962の復旧モードで表示されます。



パネルには、トラブルシューティングの目的で、デバイスのIPアドレスと復旧モードのメッセージのみが表示されます。

ファインダー

ウェブインターフェースからファインダー機能を起動すると、このページが表示されます。デバイスパネルが点滅することで、ユーザーが物理ユニットを識別できるようになります。



デバイスパネルの点滅は、次の条件で停止します。

- ◆ ウェブGUIから手動で停止した。
- ◆ パネル上で任意のボタンを押した。
- ◆ 60秒のタイムアウトに達した。

第4章 ブラウザーのウェブ操作

概要

VE8962は、ブラウザーからアクセスした時に使える操作GUI「ATEN VEマネージャー」を通じて、遠隔管理や統合管理を行うことができます。このインターフェースは、トランスマッターとレシーバーを統合的に設定する役割を果たします。

対応ブラウザー

サポートされているウェブブラウザーとそのバージョンについては、以下の表を参照してください。

ウェブブラウザー	対応バージョン
Google Chrome	115以降
Mozilla Firefox	115以降
Microsoft Edge	115以降
Opera	100以降
Safari	17以降

はじめに

このセクションでは、ブラウザーからのアクセス方法と、VE8962の設定方法について解説します。

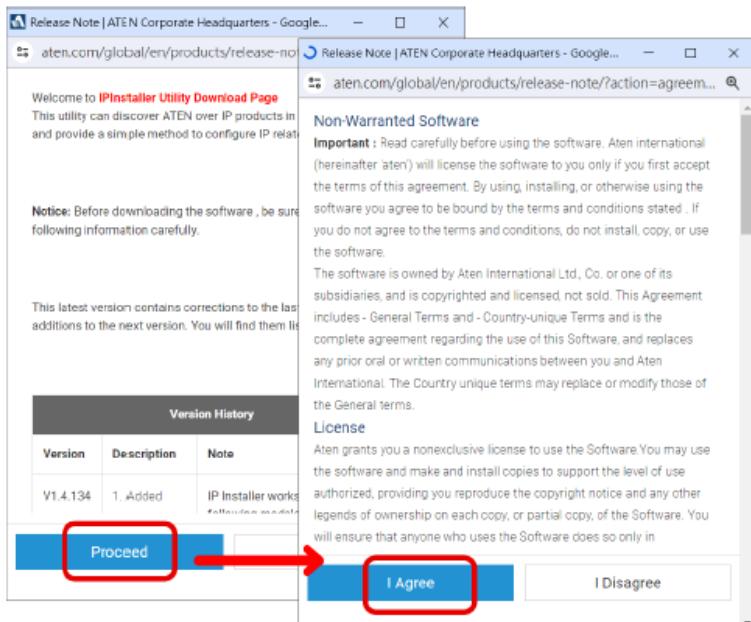
デバイスのIPアドレスの確認

ブラウザーからアクセスするには、まずVE8962のIPアドレスを確認する必要があります。

IPインストーラー

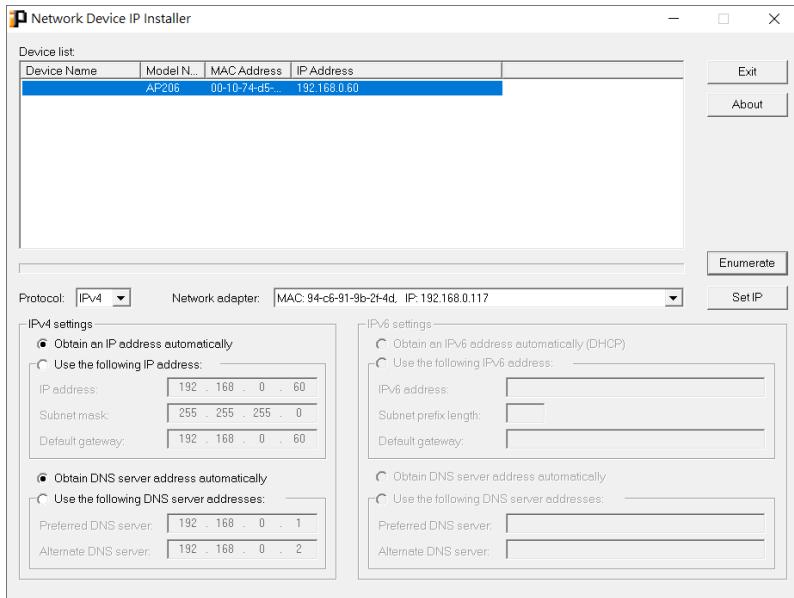
以下の手順に従って、ATENユーティリティープログラム「IPインストーラー」を使用してVE8962のIPアドレスを取得してください。

1. VE8962の製品ページにある「サポートとダウンロード」タブからIPインストーラーをダウンロードします。



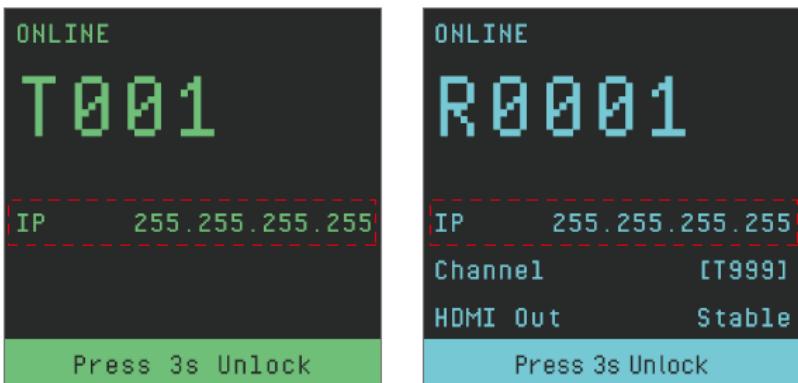
2. IPインストーラーのzipファイルを解凍し、exeファイルを実行します。

3. デバイスリストからVE8962本体のIPアドレスを取得したら、このIPアドレスをブラウザーのURLバーに入力してアクセスします。IPアドレスが複数ある場合は、任意のVE8962のIPアドレスを使用します。



本体のメニュー画面

IPインストーラーが使用できない場合や、機器がリストに表示されていない場合は、本体のLCD画面からでもIPアドレスを確認できます。



ログイン

以下の手順に従ってVEマネージャーにログインしてください。

1. 対応するウェブブラウザーを起動し、製品本体のIPアドレスをアドレスバーに入力します。
2. ログイン画面が表示されたら、ユーザーネームとパスワードを入力し、表示言語を選択して、「ログイン」ボタンをクリックして続行します。

The screenshot shows the ATEN VE Manager login interface. At the top center is the ATEN logo. Below it are two input fields: the first for 'User name' containing 'administrator' and the second for 'Password' containing a masked password. Underneath these is a language selection dropdown set to 'English'. A 'Remember me' checkbox is checked. At the bottom is a large green 'Login' button.

初回ログイン

初回ログイン時(製品本体をリセットした後にVEマネージャーに初めてログインする場合を含む)には、以下の設定を行います。

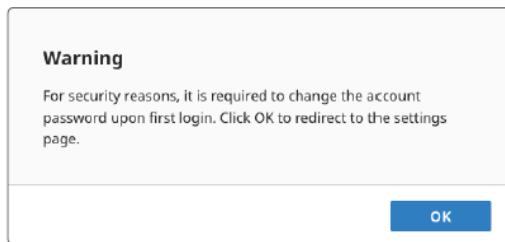
初期設定で利用できるユーザー名とパスワードは以下のとおりです。

ユーザー名 : administrator

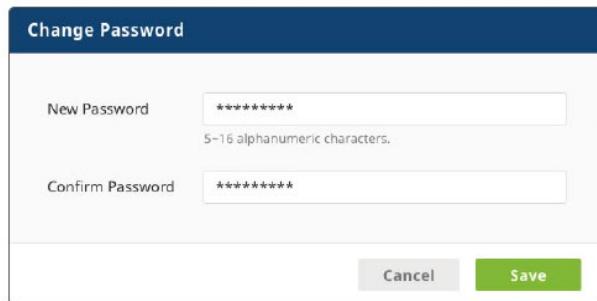
パスワード : password

1. パスワードの変更

- ログインパスワードの変更を求められたら、「OK」をクリックして続行します。

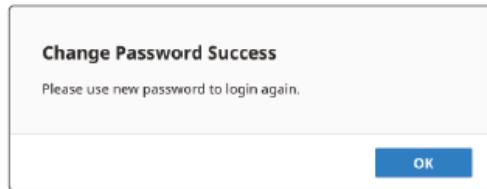


- 新しいパスワードを入力し、このパスワードを関連フィールドで確認したら、「保存」をクリックします。



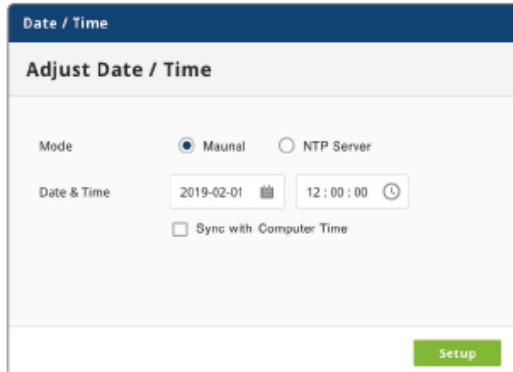
A rectangular dialog box with a dark blue header bar containing the text "Change Password" in white. Below the header are two input fields. The first field is labeled "New Password" and contains the placeholder "*****" followed by the instruction "5-16 alphanumeric characters.". The second field is labeled "Confirm Password" and also contains the placeholder "*****". At the bottom of the dialog are two buttons: "Cancel" on the left and "Save" on the right, both in white text.

- 「パスワードの変更に成功しました」というメッセージが表示されます。「OK」をクリックすると、新しいパスワードで再度ログインすることができます。



2. 日時の更新

日付と時間を設定するモードを選択します。



設定	説明
モード	<p>次の2つのモードのうち、どちらかを選択してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 手動: <p>日付と時刻を手動で設定します。</p> <p>「手動」を選択すると、下にある「日付 & 時刻」機能が使用可能になります。日付選択ツールと時間選択ツールから日時を選択してください。</p> ◆ NTPサーバー: <p>ネットワーク内にNTPサーバーがある場合は、時刻データを取得して同期します。</p>
日付 & 時刻	<p>日付選択ツールと時刻選択ツールから日時を設定します。</p> <p>注意:この機能は手動モードが有効な場合にのみ使用できます。</p>
コンピューターと同期	<p>リモートアクセスに使用しているPCの時刻データをVE8962にコピーしたい場合は、この項目にチェックを入れて有効にします。</p>

3. デバイスの追加

画面の指示に従って、制御・管理する機器を追加します。詳しくは、p.45 「デバイスの追加」を参照してください。

The screenshot shows the 'Add Device' interface with two tables of devices:

- Transmitter (999)**
- Receiver (999)**

Transmitter (999) Table Headers:

ID	Device Name	MAC Address	ID Type	IP	Subnet Mask	Gateway	Primary DNS	Secondary DNS	Find Me
T001	HE962T	E9-35-00-28-11	Auto	255.255.255.255	255.255.255.255	255.255.255.255	255.255.255.255	255.255.255.255	<input type="button" value=""/>
T002	HE962T	E9-35-00-28-11	Auto	255.255.255.255	255.255.255.255	255.255.255.255	255.255.255.255	255.255.255.255	<input type="button" value=""/>
T003	HE962T	E9-35-00-28-11	Auto	255.255.255.255	255.255.255.255	255.255.255.255	255.255.255.255	255.255.255.255	<input type="button" value=""/>
T004	HE962T	E9-35-00-28-11	Auto	255.255.255.255	255.255.255.255	255.255.255.255	255.255.255.255	255.255.255.255	<input type="button" value=""/>
T005	HE962T	E9-35-00-28-11	Auto	255.255.255.255	255.255.255.255	255.255.255.255	255.255.255.255	255.255.255.255	<input type="button" value=""/>
—	IP CMH Module	E9-35-00-28-11	—	255.255.255.255	255.255.255.255	255.255.255.255	255.255.255.255	255.255.255.255	<input type="button" value=""/>

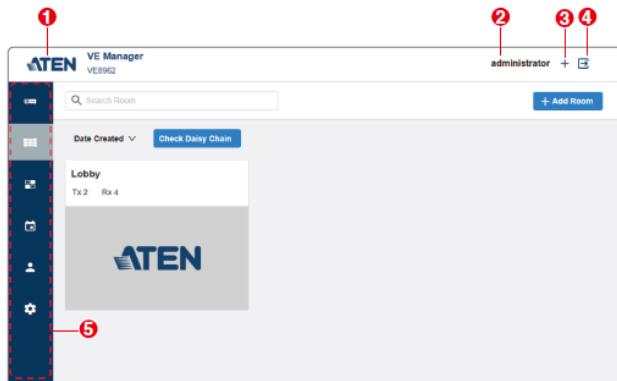
Receiver (999) Table Headers:

ID	Device Name	MAC Address	ID Type	IP	Subnet Mask	Gateway	Primary DNS	Secondary DNS	Find Me
R001	HE962R	E9-35-00-28-11	Auto	255.255.255.255	255.255.255.255	255.255.255.255	255.255.255.255	255.255.255.255	<input type="button" value=""/>
R002	HE962R	E9-35-00-28-11	Auto	255.255.255.255	255.255.255.255	255.255.255.255	255.255.255.255	255.255.255.255	<input type="button" value=""/>
R003	HE962R	E9-35-00-28-11	Auto	255.255.255.255	255.255.255.255	255.255.255.255	255.255.255.255	255.255.255.255	<input type="button" value=""/>
R004	HE962R	E9-35-00-28-11	Auto	255.255.255.255	255.255.255.255	255.255.255.255	255.255.255.255	255.255.255.255	<input type="button" value=""/>
R005	HE962R	E9-35-00-28-11	Auto	255.255.255.255	255.255.255.255	255.255.255.255	255.255.255.255	255.255.255.255	<input type="button" value=""/>
R006	HE962R	E9-35-00-28-11	Auto	255.255.255.255	255.255.255.255	255.255.255.255	255.255.255.255	255.255.255.255	<input type="button" value=""/>

Buttons at the bottom right: Refresh, Find Me, Cancel, Next.

メイン画面

VE8962のリモートアクセス画面「VEマネージャー」にログインすると、下図のような画面が表示されます。この画面は、「ルーム」ページと呼ばれ、次の機能があります。



番号	項目	説明
1		ATENのロゴをクリックすると、ATENの公式ウェブサイトに直接アクセスできます。アクセスにはインターネット環境が必要です。
2	ログインしたアカウント	ログインに使用したユーザーネームを表示します。
3	デバイスの追加	クリックすると、「デバイスの追加」ポップアップを開きます。このオプションはアドミニストレーターのみが利用可能です。
4	ログアウト	クリックしてログアウトすると、ログインページにリダイレクトします。
5	サイドメニュー	アイコンをクリックすると、各画面にアクセスします。 ◆ デバイス: 「デバイス」ページは、接続されたすべてのトランスミッターとレシーバーの概要を提供します。また、これらの機器の状態を監視し、設定、バッチ編集、またはデバイス管理を簡単に行うことができます。

番号	項目	説明
5	サイドメニュー (続き)	<ul style="list-style-type: none"> ◆  ルーム: 「ルーム」ページでは、仮想ルームの作成・管理・カスタマイズ、ビデオウォールの設定、トランスミッターの切り替え、レシーバーの設定の管理を行うことで、シームレスなAVシステムを構築できます。 ◆  マトリックス: 「マトリックス」ページでは、トランスミッターとレシーバー間のオーディオ、USB、IR、RS-232の各信号のルーティングを管理・制御できます。また、パッチの適用、ミュート、同期化のオプションが利用可能です。 ◆  スケジュール: 「スケジュール」ページでは、スケジュール済みのタスクの作成・表示・管理が行えます。表示形式は、カレンダー表示またはリスト表示が可能です。また、時間範囲、繰り返し設定、複数プロファイルのオプションが利用できます。 ◆  ユーザー: 「ユーザー」ページでは、アドミニストレーターがユーザー アカウントを作成・編集・管理できます。ユーザー アカウントは、システムの機能にアクセスできる範囲(アクセスレベル)を設定することができます。 ◆  メンテナンス: 「メンテナンス」ページでは、システムメンテナンス設定を提供します。これには、日付と時刻の設定、パネルロックの設定、CLIアクセス、アカウントロックアウトポリシー、ファームウェア更新、バックアップ/復元のオプションが含まれます。

デバイス

「デバイス」ページは、システムに接続されたすべてのVE8962デバイスを管理する中心的なハブとして機能します。アドミニストレーターは必要に応じて、デバイス情報の表示や、新規デバイスの追加、未使用のエントリーの削除といった操作が行えます。基本設定オプションにより、各デバイスを適切に登録してアクセスできるようになります。特定の機能は、アドミニストレーター権限を持つユーザーのみが利用可能です。

「デバイス」ページでは、以下に示すようにVE8962本体を一覧で表示します。



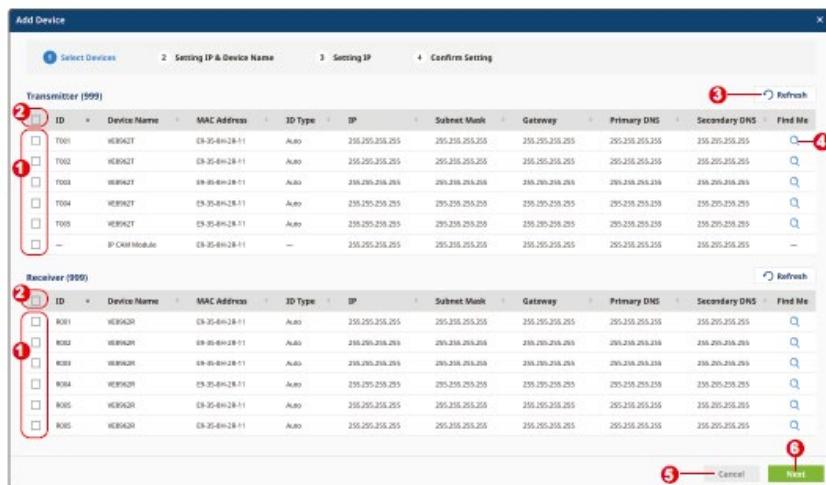
番号	項目	説明
1	タブバー	クリックしてタブページに入ると、機器を一覧表示します。 ◆ トランシミッター: VE8962Tのみ ◆ レシーバー: VE8962Rのみ
2	機器の追加	「デバイスの追加」ボタン(+)をクリックすると、「デバイスの追加」ポップアップを開いて、増設したVE8962本体を追加できます。
3	検索バー	検索語句またはキーワードを入力して、条件に一致するデバイスのみに一覧を絞り込みます。

番号	項目	説明
4	クイック設定メニュー	デバイスリストから選択したVE8962の設定を行います。
5	アクションメニュー	デバイスリストから選択したVE8962に対して実行するアクションを選択します。
6	タイル表示	トランスマッターを個別のタイルとして表示し、基本識別情報とプレビュー画像(利用可能な場合)を表示します。これにより、接続済みデバイスを素早く視覚的に把握できます。
7	リスト表示	データの比較とデバイスの管理が簡単にできるように、トランスマッターのステータス、温度、電源入力などの詳細情報を表形式で表示します。
8	検索バー	キーワードを入力して、必要なVE8962を探します。
9	デバイスリスト	「情報」タブでは、VE8962とその情報が表示されます。また、「設定」タブでは、VE8962の情報と設定が編集できます。

デバイスの追加

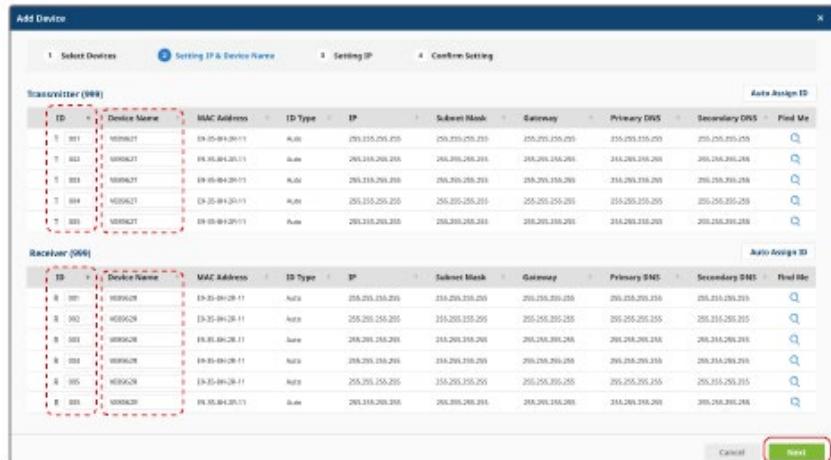
VEマネージャーにVE8962を追加するには、次の手順で操作してください。

1. 「デバイスの追加」ボタン(+)をクリックして、「デバイスの追加」ポップアップを開きます。
2. 追加するデバイスをチェックボックスで選択したら、「次へ」をクリックします。

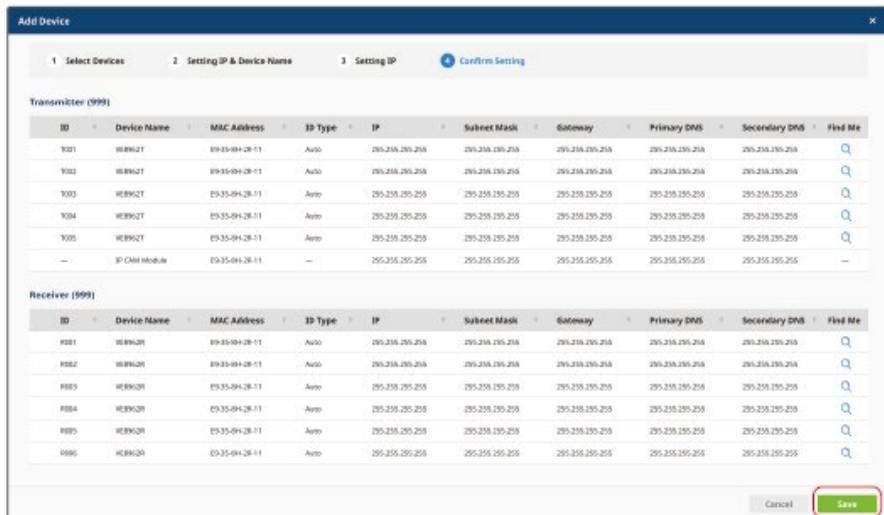


番号	項目	説明
1	チェックボックス	VEマネージャーに追加するトランシッターやレシーバーを選択します。
2	すべて選択	すべてのトランシッタ/レシーバーを選択します。
3	更新	使用可能なデバイス一覧を更新します。
4	探す	ユーザーが本体の場所を探せるように、選択した機器のLEDを点滅させます。
5	キャンセル	デバイスの追加を中断し、「デバイスの追加」ポップアップを終了します。
6	次へ	次の手順に進みます。

3. 画面の指示に従って、本体のID、デバイス名、およびデバイスのIPアドレスを設定します。



4. 設定を確認したら、「保存」をクリックして選択した機器を追加します。



5. 追加したVE8962はデバイスリストで確認できます。なお、IPアドレスを変更したVE8962は設定を反映させるために自動でソフトウェアリセットが発生します。

デバイスリスト

デバイスリストでは、VE8962を項目別に表示して確認・設定が行えます。「情報」タブでは機器の情報を確認できます。また、「設定」タブでは編集可能な設定項目を表示します。

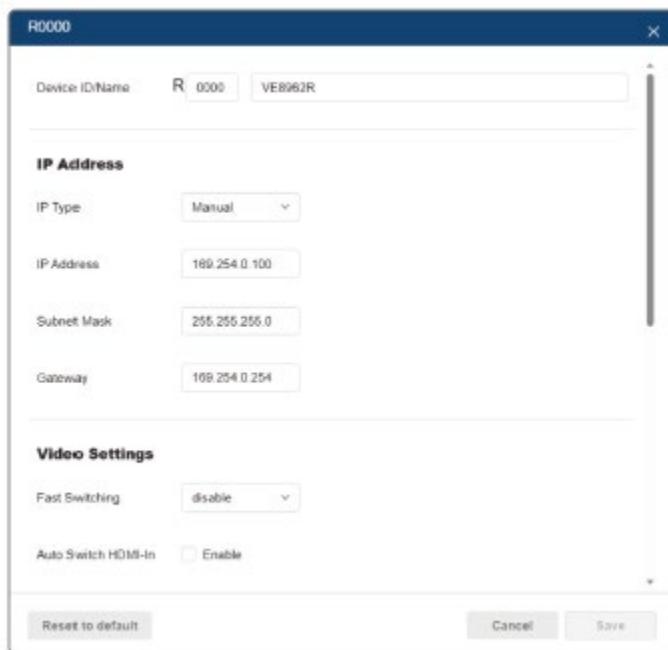
◆ 「情報」タブ:

ID	Device Name	Connect	Link	Temperature	Voltage	DC	PoE	Fiber	Cat	Action
R0000	VE8962R	T001	● Active	48°C	✓	✓	✓	—	✓	⚙️🔍
R0001	VE8962R	T001	● Active	49°C	✓	✓	✓	—	✓	⚙️🔍
R0002	VE8962R	T001	● Active	50°C	✓	✓	✓	—	✓	⚙️🔍
R0003	VE8962R	T001	● Active	49°C	✓	✓	✓	—	✓	⚙️🔍

◆ 「設定」タブ:

ID	Device Name	IP	Fast Switching	USB	IR	RS-232	Baud rate	Action
R0000	VE8962R	169.254.0.100	disable	Enable	Enable	Bypass	115200	⚙️🔍
R0001	VE8962R	169.254.0.101	1920x1080	Enable	Enable	Bypass	115200	⚙️🔍
R0002	VE8962R	169.254.0.102	1920x1080	Enable	Enable	Bypass	115200	⚙️🔍
R0003	VE8962R	169.254.0.103	1920x1080	Enable	Enable	Bypass	115200	⚙️🔍

機器をダブルクリックすると、その機器の設定ウィンドウを開きます。設定の変更を行つたら、保存して変更を適用します。



アクションボタンをクリックすると、以下のアクションを直接実行できます。

アクション	説明
	デバイスを編集 本体の設定ウィンドウを開いて変更を行います。
	検索 選択した機器のLEDを点滅させて、ユーザーが機器の位置を見つけられるようにします。

トランスマッタータブ

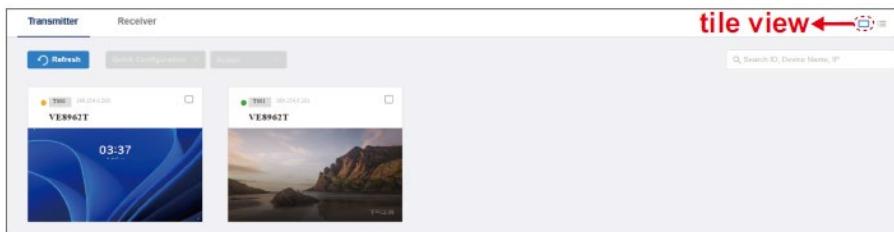
「トランスマッター」タブページでは、右上にあるアイコンを使って表示形式(リスト形式またはタイル形式)を切り替えられます。

- ◆ リスト表示  :



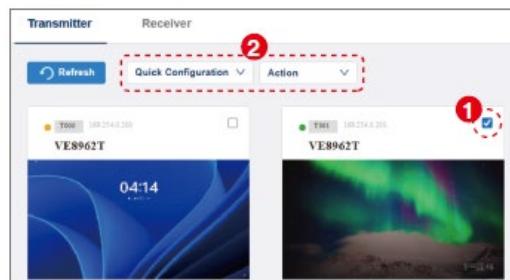
ID	Device Name	Controller	Link Status	Temperature	Voltage	DC	PoE	Fiber	Cat	Action	
T000	VE8962T	Disabled	Standby	41°C		—		—			
T001	VE8962T	Disabled	Active	41°C				—			

- ◆ タイル表示  :



タイル表示では、以下の操作が行えます。

1. タイルカードのチェックボックスをチェックして、機器を選択します。
2. 「クイック設定」メニュー や「アクション」メニューにアクセスして、さらに操作を行います。



クイック設定メニュー

VE8962で特定の項目のクイック設定を行うには、以下の手順で操作します。

1. デバイスリストからチェックボックスをチェックして、機器を選択します(複数選択可)。

ID	Device Name	Controller	Link Status	Temperature	Voltage	DC	PoE	Fiber	Cat	Action	
T000	VE8962T	Disabled	Standby	45°C	✓	—	✓	—	✓		
T001	VE8962T	Disabled	Active	45°C	✓	✓	✓	—	✓		

2. 「トランシミッター」タブと「レシーバー」タブにおける「クイック設定」メニューのオプションは同じではありません。各タブは、選択した機器の種類に応じた機能を提供します。

「クイック設定」ドロップダウンメニューから、設定オプションを選択します。

Transmitter Receiver

Quick Configuration ▾

- IP
- EDID >
- HDCP >
- IR >
- RS-232 >
- RS-232 Baud Rate >

Transmitter Receiver

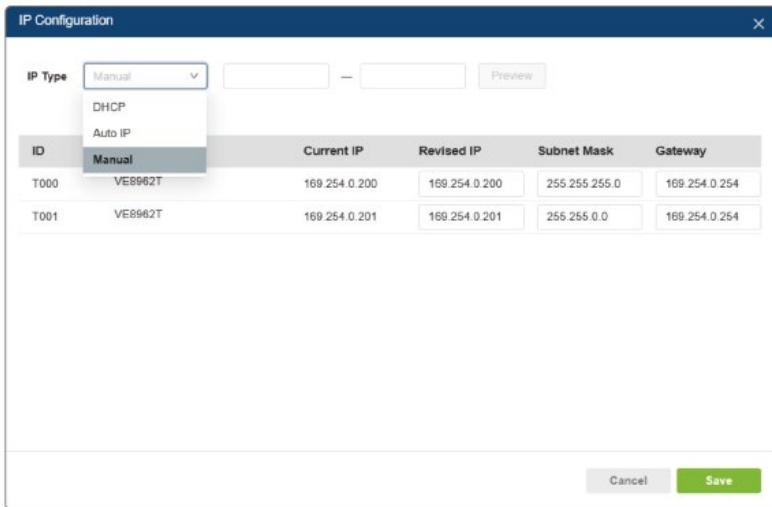
Quick Configuration ▾

- IP
- Fast Switching >
- Auto Switch HDMI-In >
- USB >
- IR >
- RS-232 >
- RS-232 Baud Rate >

VE8962R

IPアドレス

機器のIPアドレスを設定します。「IP設定」ドロップダウンメニューのオプションには、次の選択項目があります。



- ◆ DHCP:
このオプションを選択すると、同一ネットワークセグメントにあるDHCPサーバーからIPアドレスを自動的に取得します。
- ◆ 自動IP:
このオプションを選択すると、VE8962がAPIPAを使用して、重複しないIPアドレスを自動的に取得します。
- ◆ 手動:
任意のIPアドレスを指定します。機器のIPアドレス、サブネットマスク、およびゲートウェイを該当欄に入力します。

EDID

- ◆ リミックス(デフォルト):
入力を、接続中のディスプレイの最適な解像度に設定します。
- ◆ ATENデフォルト:
ATENが事前定義したEDIDリストに基づき、入力に対して最適な設定を行います。
- ◆ 手動:
ユーザーの設定に基づいて入力を設定します。

HDCP

VE8962TのHDCPを有効にするかどうかを選択します。

高速切替

クリックすると、高速切替の解像度を設定します。最適なパフォーマンスを得るには、ビデオソースの解像度に合わせて設定し、すべてのVE8962Rで同じ設定を適用することを推奨します。

HDMI入力の自動切替

HDMI入力の自動切替機能を有効または無効に選択します。

HDMIソース機器を接続すると、VE8962RはHDMI入力に自動で切り替わります。ソースが切断されるか、自動切替モードが無効になるまで、入力ポートは変更できません。HDMIソース機器を取り外すと、前のポートに戻ります。

USB

接続中のUSBデバイスからの信号受信を有効または無効にします。

IR

IR信号の受信を有効または無効にします。

RS-232

コマンドモードとは、RS-232コマンドでVE8962を設定・制御する機能です。コマンドモードを無効にすると、トランスマッターとレシーバー間におけるRS-232通信をバイパス延長する機能へと切り替えます。

- ◆ コマンドモード:有効
- ◆ バイパス:無効
- ◆ RS-232ルーターへのTelnet接続

ボーレート

RS-232通信で使用するボーレートを選択します。

アクションメニュー

選択した機器に対してアクションを実行するには、以下の手順で操作します。

The screenshot shows a software interface for managing devices. At the top, there are tabs for 'Transmitter' and 'Receiver', with 'Receiver' being active. Below the tabs are buttons for 'Refresh', 'Quick Configuration', and a dropdown menu labeled 'Action'. The main area displays a table of devices with columns for 'ID', 'Device Name', 'Status' (T001 or T002), and 'Link' (Active). A row for 'R0001' is selected, indicated by a blue background. A context menu is open over this row, showing options: 'Reboot', 'Reset to default', 'Remove device' (in red), 'Connect', and 'Link'. The 'Remove device' option is highlighted.

1. チェックボックスを選択してVE8962を選択します。
2. 実行するアクションを、「アクション」ドロップダウンメニューから選択します。

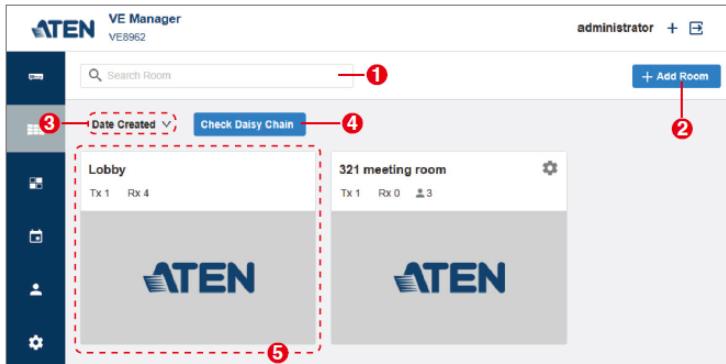
アクション	説明
再起動	選択した機器をオフにしてから、すぐに再起動します。
デフォルトへのリセット	選択した機器を工場出荷時のデフォルト設定に戻します。
デバイスの削除	選択した機器をVEマネージャーから削除します。

ルームの管理

VEマネージャーのルームは、Microsoft 365のルームメールボックスに似た機能を提供します。これはVEマネージャーで仮想的に作成され、会議室などの物理的な場所に割り当てられるもので、この場所に属するリソース（トランスミッター、レシーバー、モニター）を管理・操作・設定するのに役立ちます。ルームのメインページには、すべてのルームを表示します（デフォルトのルームであるロビーと、ユーザーが作成したルームを含む）。このページにアクセスすると、仮想ルームの使用方法を整理して、VE8962本体を管理できます。

注意：

デフォルトのルームであるロビーは、削除や名前変更ができません。



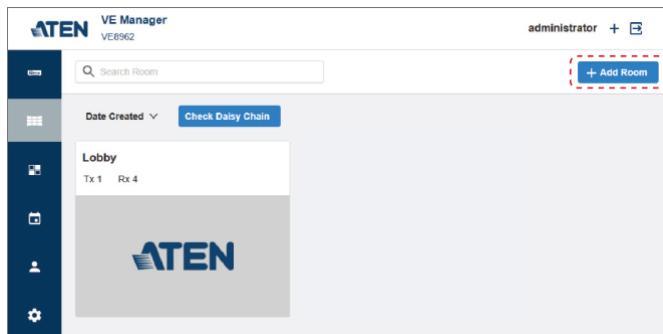
番号	項目	説明
1	検索バー	ルームのキーワードを入力すると、そのキーワードに一致したルームカードをクリック検索して表示します。
2	ルームの追加	「ルームの追加」ボタンをクリックすると、ルームを新規作成します。

番号	項目	説明
3	表示順 ドロップダウンメニュー	ルームの表示順を選択します。 ◆ 作成: 作成時間でルームを並べ替えます。 ◆ A~Z: アルファベット順でルームを並べ替えます。
4	デイジーチェーンの確認	
5	ルームカード	仮想ルームの基本情報を表示します。ルームカードをクリックすると、設定ページにアクセスします。

ルームの新規作成

新しいルームを作成するには、以下の手順を実行します。

- 「ルームの追加」ボタンをクリックして、「ルームの管理」ポップアップを開きます。



- 「利用可能なトランシッター」タブで、ルームの名前を指定し、1つ以上の利用可能なトランシッターを割り当てます。

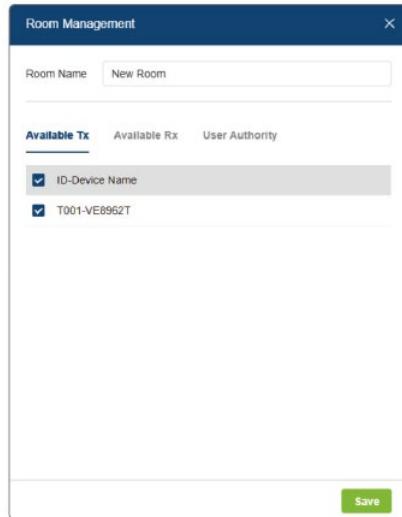
Room Management

Room Name

Available Tx Available Rx User Authority

ID-Device Name
 T001-VE8962T

Save



3. 「利用可能なレシーバー」タブで、利用可能なレシーバーをルームに割り当てます。

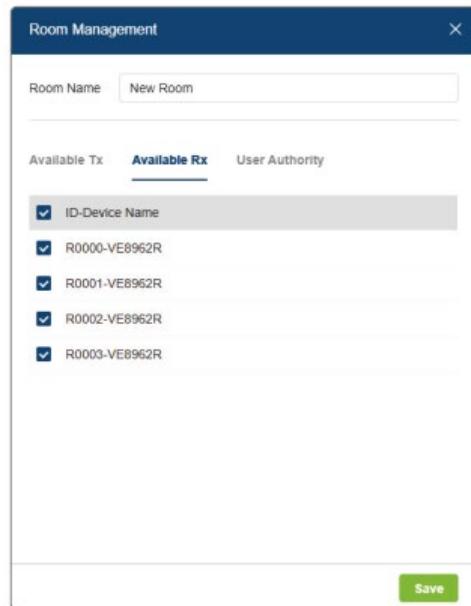
Room Management

Room Name

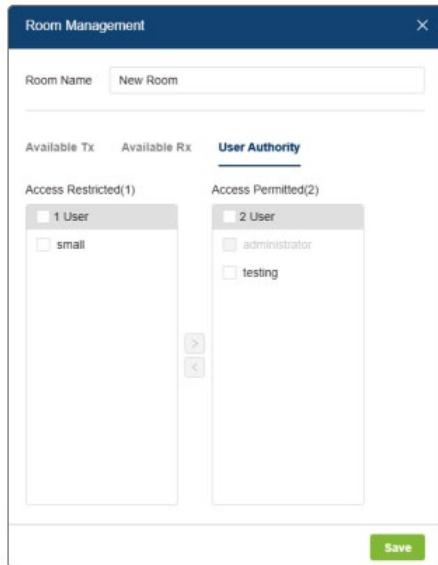
Available Tx Available Rx User Authority

ID-Device Name
 R0000-VE8962R
 R0001-VE8962R
 R0002-VE8962R
 R0003-VE8962R

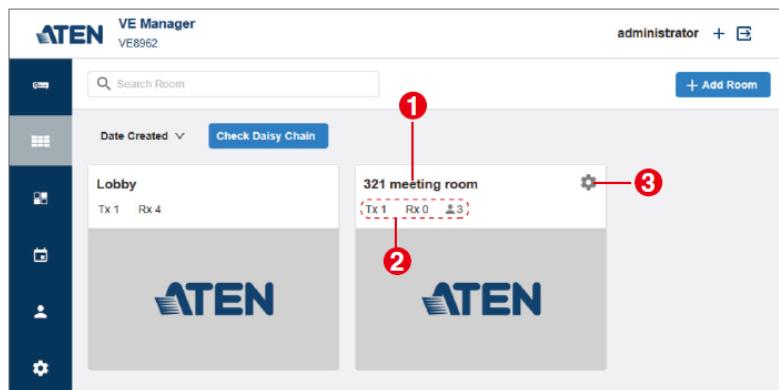
Save



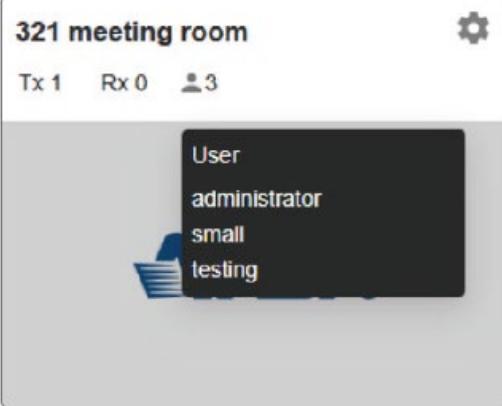
4. 「ユーザー権限」タブで、ユーザーを「アクセス制限」リストまたは「アクセス許可」リストに割り当てます。

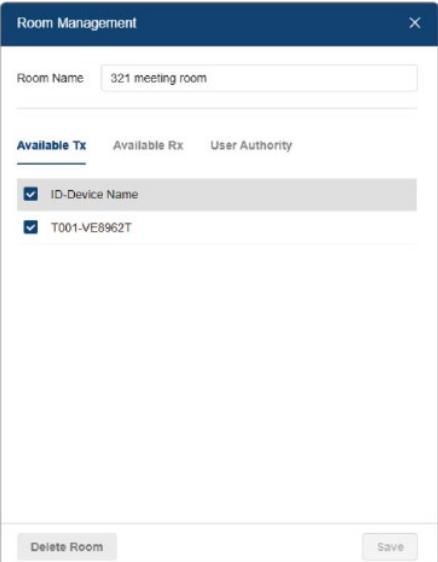


5. 「保存」ボタンをクリックして新規ルームの設定を完了します。ルームを正常に作成すると、ルームカードが一覧に追加されます。



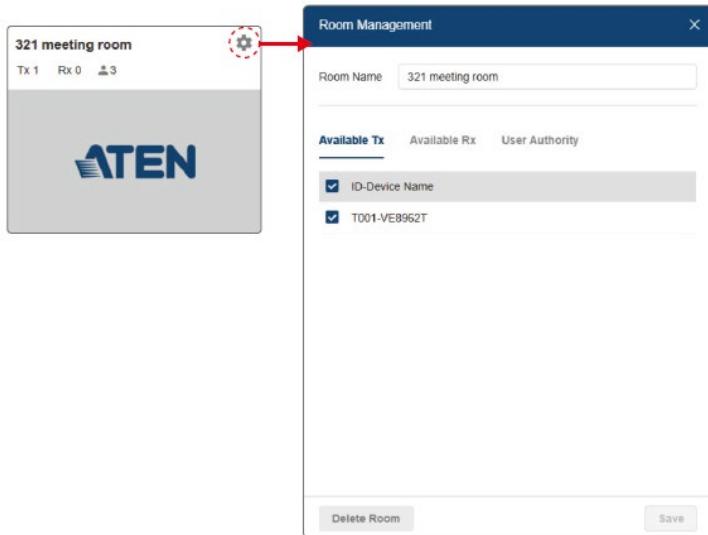
番号	項目	説明
1	ルーム名	ルームに設定した名前です。
2	デバイスとユーザー リストのツールチップ	トランスマッター数、レシーバー数、またはユーザーアイコンにカーソルを合わせると、このルームに割り当てられたトランスマッターID、レシーバーID、またはユーザー アカウントを、ツールチップの一覧で確認することができます。



番号	項目	説明
3	ルーム設定ボタン	<p>「ルームの管理」popupアップを開いて、ルームを編集または削除します。</p>  <p>注意: この機能はデフォルトのルームであるロビーでは利用できません。</p>

既存ルームの編集・削除

ルーム設定の編集や既存ルームの削除を行うには、設定ボタンをクリックして「ルームの管理」ポップアップを開きます。



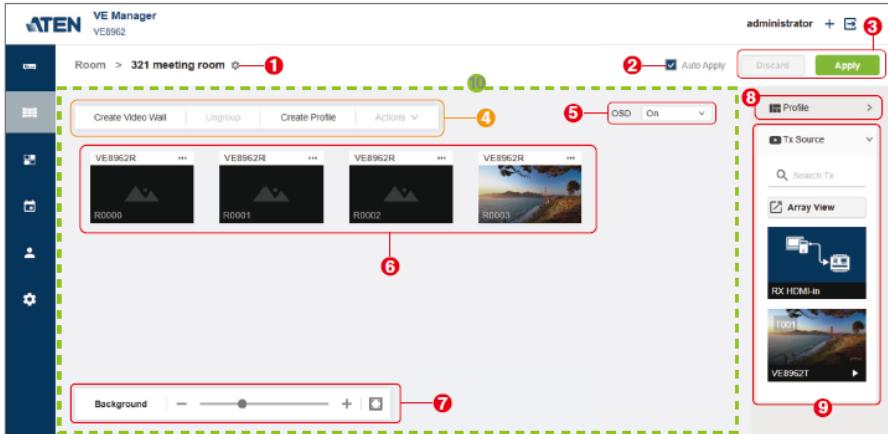
- ◆ 変更を加えて保存します。
- ◆ ルームを削除するには、「削除」ボタンをクリックしてアクションを確認します。

注意:

ルームが削除されると、このルームに属する機器はデフォルトのルーム(ロビー)に移動します。

ルームの設定

ルームカードをダブルクリックすると、そのルームの設定ページにアクセスし、詳細設定が行えます。



番号	項目	説明
1	設定	<p>クリックすると、「ルームの管理」ポップアップを開き、以下のオプションを選択できます。</p> <ul style="list-style-type: none">◆ ルームの名称変更◆ デバイスの追加・削除、およびユーザーアクセスの管理◆ ルームの削除 <p>注意:この機能はデフォルトのルーム(ロビー)では利用できません。</p>
2	自動適用	有効にすると、このルームに対して行った変更を即座に反映します。
3	適用/破棄	自動適用が無効の場合、以下の操作が可能です。 <ul style="list-style-type: none">◆ 適用:現在の変更を適用します。◆ 破棄:変更した設定を取り消します。
4	ツールバー	このルームに属するレシーバーを管理するためのボタンとアクションメニューを提供します。詳細については、p.63「ツールバー」を参照してください。

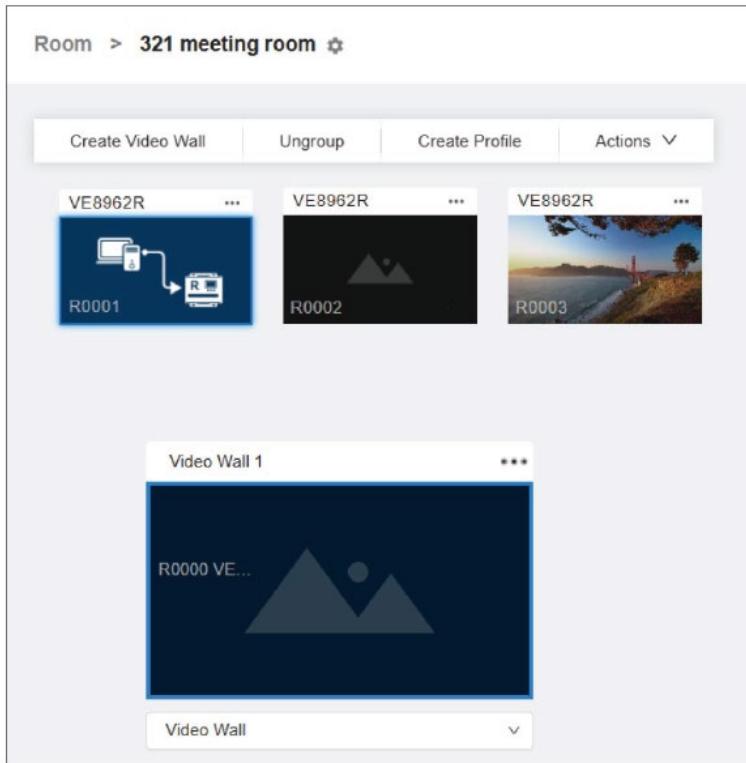
番号	項目	説明
5	メニュー画面設定	<p>レシーバー情報(レシーバーID、モデル名、デバイスIPアドレス、異常警告)を出力ディスプレイに表示するかどうかを設定します。オプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ オフ:機能を無効にします。 ◆ オン:機能を有効にします。 ◆ 10秒:イベント発生時にレシーバー情報を10秒間表示します。
6	レシーバー/ ビデオウォールカード	このルームに属するレシーバー/ビデオウォールです。カードを希望の位置にドラッグして配置します。
7	背景設定	<p>背景設定ツールを使用すると、以下の操作が可能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ ルームの設定ページに表示するレシーバー/ビデオウォールカードのサイズを変更します。 ◆ ルームの場所レイアウトなどの背景画像をアップロードして、デバイスを整理します。
8	プロファイル一覧	<p>既存のプロファイルを選択して適用します。</p> <p>詳細についてはp.79「プロファイルの管理」を参照してください。</p>
9	トランスマッター ソースリスト	<p>このリストには以下が含まれます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 検索バー: 必要なトランスマッターを検索するために、キーワード(本体IDまたは機器名)を入力します。 ◆ アレイレビュー: クリックすると、利用可能なビデオソースを表示するウィンドウを開きます。 ◆ トランスマッターリスト: 利用可能なトランスマッターのみが表示されます。トランスマッターのビデオソースをレシーバー/ビデオウォールにドラッグして放すと、このソースを対応ディスプレイメモリーで出力します。
10	配置領域	レシーバー/ビデオウォールのカードを配置する場所です。

ツールバー

ツールバーには、レシーバー/ビデオウォールで機能を実行するためのボタンがあります。

「アクション」メニュー項目については、まずターゲットレシーバーまたはビデオウォールを選択します。レシーバーまたはビデオウォールカードをクリックして選択すると、カードフレームを青で強調表示します。

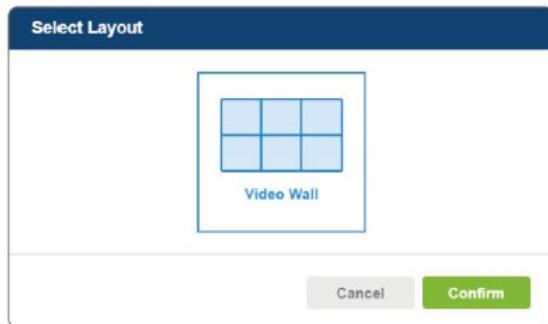
グループ解除機能を使用する場合は、ビデオウォールカードを選択してください。



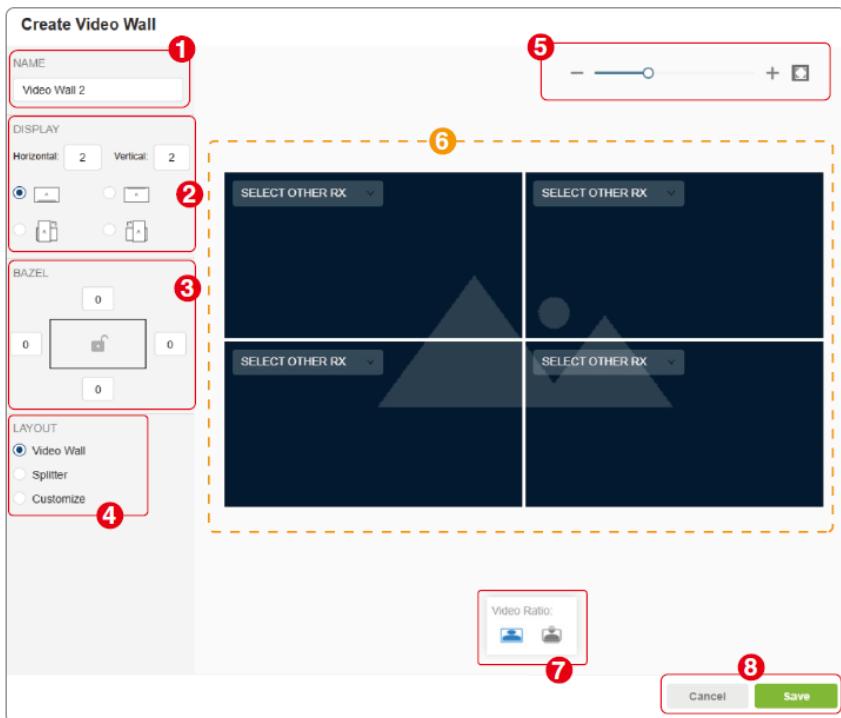
もう一度クリックすると、ターゲットとなるカードの選択を解除します。

ビデオウォールの作成

「ビデオウォールの作成」ボタンをクリックすると、確認ダイアログを表示します。
確認を行うと、「ビデオウォールの作成」ポップアップが開きます。



ビデオウォールを作成するには、以下の手順に従って操作します。



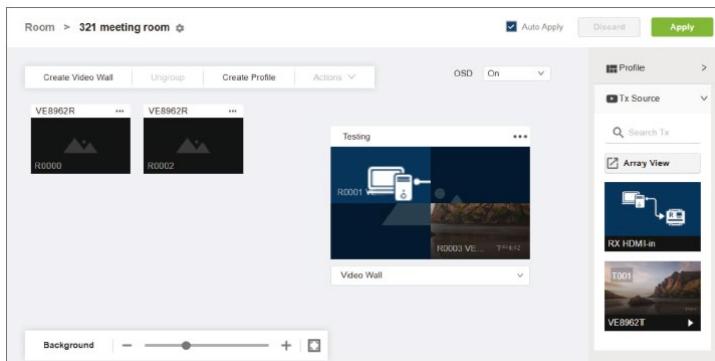
1. ビデオウォールに名前を設定します。
2. このビデオウォールで使用するディスプレイモニターの台数を入力し、表示の向きを選択します。
3. ベゼル(画面の周囲の境界線)をミリメートル単位で設定します。
4. ビデオウォールの操作モードを選択します。

レイアウト	説明
ビデオウォール	ビデオウォールを設定します。
分配器	複数のモニターに同一の映像を分配表示するための設定を行います。
カスタマイズ	カスタム表示レイアウトを作成します。

5. 必要に応じて、ズームスライダーを使用してレイアウトプレビューのズームレベルを変更します。また、「サイズに合わせてズーム」ボタンを使用すると、ポップアップウィンドウのプレビュー領域に合わせてレイアウトプレビューのサイズを自動的に変更します。
6. レイアウトプレビューは設定を視覚的に確認するのに役立ちます。ドロップダウンメニューから、各ディスプレイモニターの出力セレーバーを選択します。
7. 表示モードとして、「フル」または「ナチュラル」を選択します。レイアウトをカスタマイズして使用する場合は、「結合」または「分離」を選択してモニターを配置します。

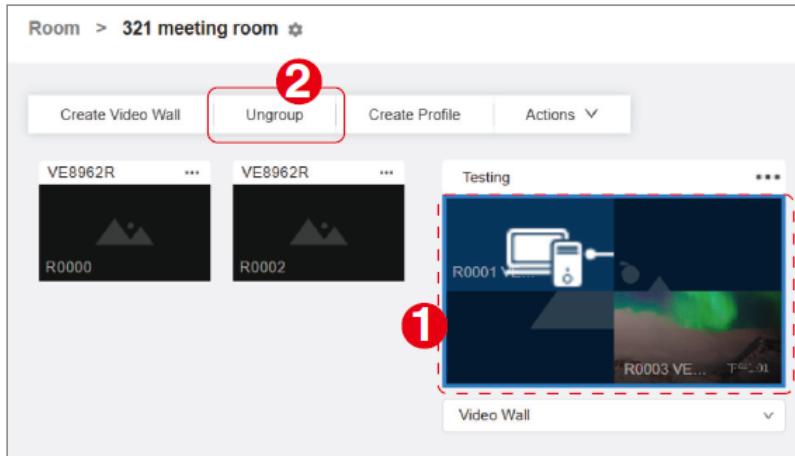
項目	説明	
	フル	選択した画面全体にソースビデオをフル拡張して表示します。
	ナチュラル	ソースビデオを元のアスペクト比で表示します。
	結合	レイアウトプレビューから選択した複数のモニターを、1台のディスプレイに結合します。
	分離	過去に結合されたモニターを分割します。結合済みのモニターをレイアウトプレビューから選択し、このボタンをクリックします。

- ビデオウォールを作成する場合は、「保存」ボタンをクリックします。また、設定を破棄する場合は、「キャンセル」をクリックします。
- ビデオウォールを正常に作成すると、ルーム配置領域に表示されます。トランシッターソースリストとメディアリストからビデオをドラッグすることで、表示コンテンツを編集できます。詳細については、p.74「ソースの割り当て」を参照してください。



グループの解除

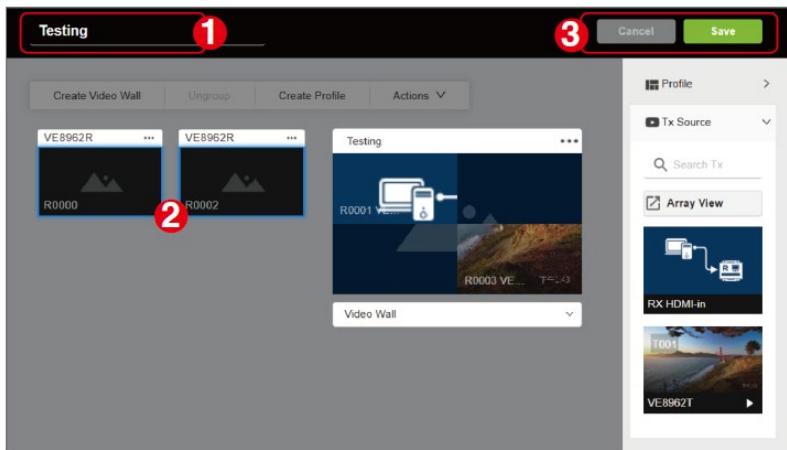
ビデオウォールのグループを解除するには、以下の手順を実行します。



1. グループ解除の対象となるビデオウォールを選択します。
2. ツールバーの「グループの解除」ボタンをクリックします。
3. ビデオのグループが解除されます。

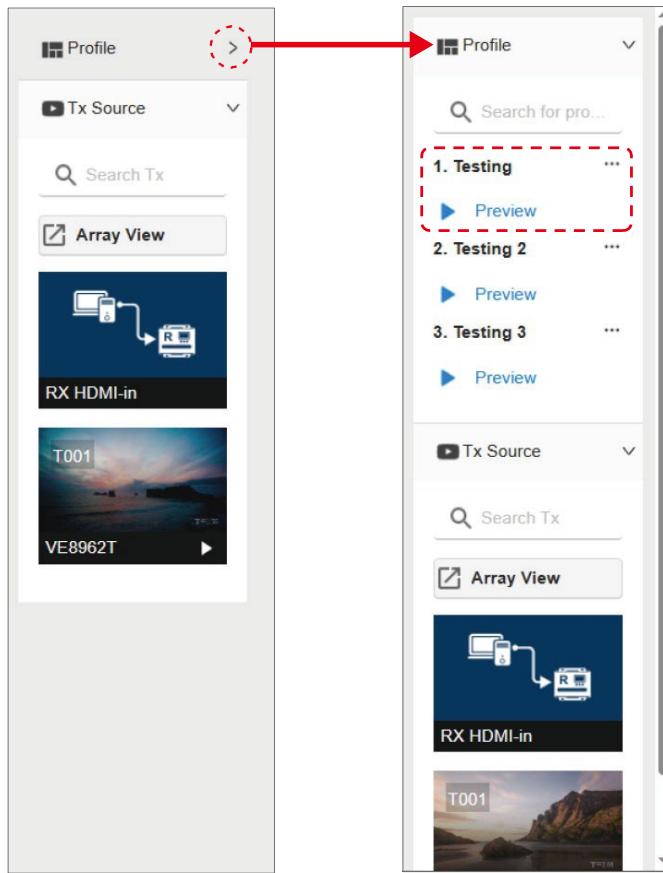
プロファイルの作成

「プロファイルの作成」ボタンをクリックすると、現在のビデオレシーバー/ビデオウォールの組み合わせ一式を呼び出せるようプロファイルとして保存します。



1. 作成するプロファイルの名前を入力します。
2. レシーバー/ビデオウォールをクリックして選択します。
3. 新しいプロファイルを作成する場合は、「保存」をクリックします。また、変更を破棄する場合は、「キャンセル」をクリックします。

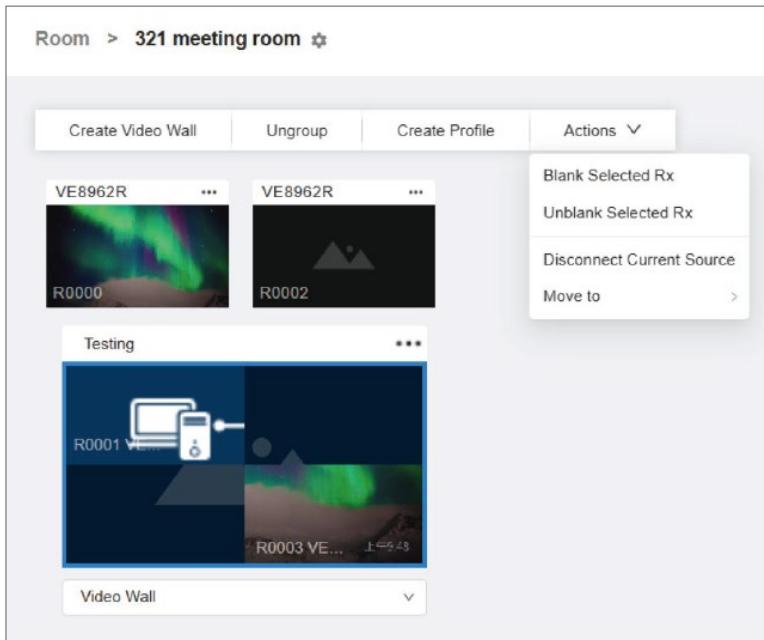
クリックしてプロファイルリストを展開すると、新しく作成されたプロファイルが一覧で確認できます。



プロファイルの詳しい操作方法については、p.79「プロファイルの管理」を参照してください。

アクション

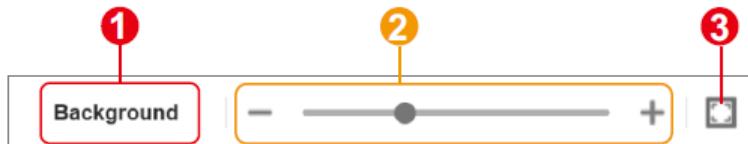
既存のレシーバー/ビデオウォールカードを選択すると、「アクション」メニューが利用可能になります。オプションは次のとおりです。



項目	説明
選択したレシーバーを ブランク表示にする	選択したターゲットレシーバーのモニター表示でコンテンツを無効にします。このとき、ターゲットのモニタースクリーンはブランク表示になります。
選択したレシーバーの ブランク表示を解除する	選択したターゲットレシーバーでブランクになっているモニター表示を有効にします。
現在のソースを切断する	トランスミッターからソースビデオを切断します。
移動する	ターゲットを他のルームに移動します。利用可能なルームは次のオプションメニューにあります。

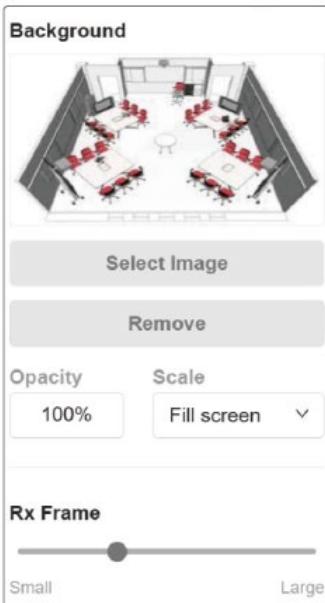
背景設定

背景設定ツールは以下の機能を提供します。フロア図などを揭示することで表示状態を確認しやすくなります。



1. 背景画像設定

設定メニューをクリックして開くと、ルームの背景画像を設定します。サイトレイアウトなどを使用してデバイスの位置を特定するのに役立ちます。



項目	説明
サムネイルの プレビュー	現在の背景画像や選択済み背景画像のサムネイルを表示します。
画像選択	ルームの背景画像としてアップロードする画像を選択します。ファイルは、.jpgまたは.png形式の最大5MBのファイルをアップロードしてください。解像度の制限はありません。

項目	説明
削除	背景画像を削除します。
不透明性	背景画像の不透明度をパーセンテージで設定します。
規模	<p>背景画像に適したサイズを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ フル画面: 背景画像をルームの配置領域全体に合わせます。 ◆ 高さに合わせる: 背景画像をルームの配置領域の高さに合わせます。 ◆ 幅に合わせる: 背景画像をルームの配置領域の幅に合わせます。
Rxフレーム スライダー	スライダーをドラッグして、レシーバーとビデオウォールカードの画面上での拡大縮小率を変更します。

2. ズームスライダー

ズームスライダーを使用して、ルームの配置領域およびその上のレシーバー/ビデオウォールカードのズームレベルを変更します。

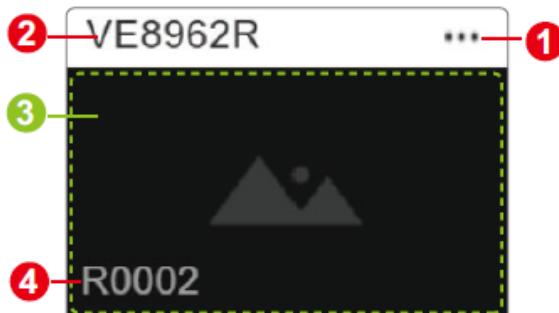
3. 画面に合わせる

このボタンを使用すると、配置領域とその上のカードを自動的にリサイズします。

レシーバー/ビデオウォールの管理

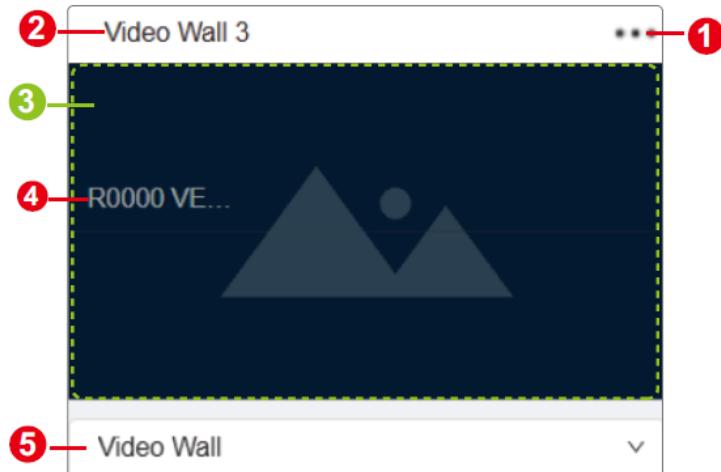
レシーバーとビデオウォールは、以下の図のようにルームの配置領域にカードとして表示されます。

◆ レシーバー



番号	項目	説明
1	詳細ボタン	クリックすると設定メニューが開き、さらに多くの操作が行えます。詳細については、p.75「設定メニュー」を参照してください。
2	モデル名	モデル名を表示します。
3	プレビュー	レシーバー上のビデオコンテンツを表します。
4	接続されたRx ID	レシーバーIDを表示します。

◆ ビデオウォール



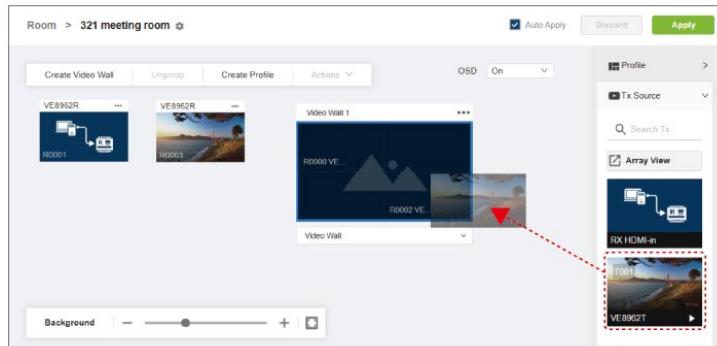
番号	項目	説明
1	詳細ボタン	クリックすると設定メニューが開き、さらに多くの操作が行えます。詳細については、p.75「設定メニュー」を参照してください。
2	ビデオウォール名	ビデオウォールの作成時に設定した名前を表示します。
3	プレビュー	ビデオウォール上のビデオコンテンツを表します。
4	接続されたRx ID	レシーバーIDを表示します。

番号	項目	説明
5	操作モード	<p>ビデオウォールの操作モードを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ ビデオウォール: ビデオウォールを設定します。 ◆ 分配器: 複数のモニターに同一の映像を分配表示するよう設定します。 ◆ カスタマイズ: カスタム表示レイアウトを適用します。

ソースの割り当て

以下の手順に従って入力ソースを割り当てます。

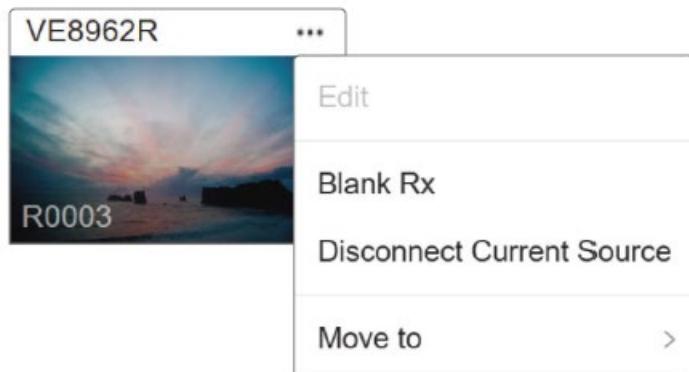
1. トランスマッターソースリストとターゲットレシーバー/ビデオウォールに割り当てるソースを特定します。
2. ソースビデオを選択し、ターゲットレシーバー/ビデオウォールのプレビュー領域にドラッグします。



設定メニュー

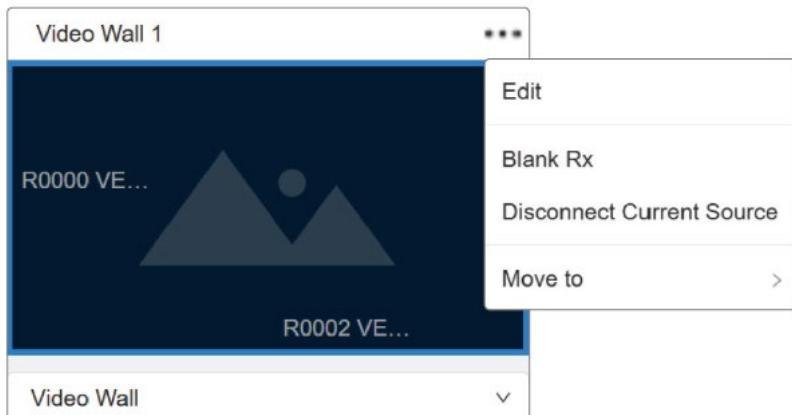
レシーバー/ビデオウォールカードの詳細ボタンをクリックすると、設定メニューを開いて以下の操作が行えます。

- ◆ レシーバー



項目	説明
編集	ポップアップを開いて、レシーバーの変更を行います。
Rxをブランク表示にする/ ブランク表示を解除する	レシーバーのモニターのブランク表示(ディスプレイの電源スタンバイを防止する黒画面表示)を、有効または無効にします。
ソースを切断	トランスミッターからソースビデオを切断します。
移動	レシーバーを他のルームに移動します。利用可能なルームは次のオプションメニューにあります。

◆ ビデオウォール



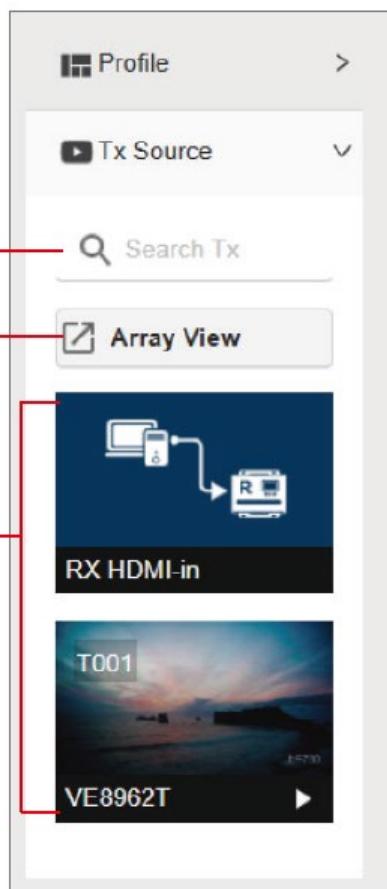
項目	説明
編集	ポップアップを開いて変更を行います。詳細については、p.64「ビデオウォールの作成」を参照してください。
ビデオウォールをブランク表示にする/ ブランク表示を解除する	ビデオウォールのモニターのブランク表示を有効または無効にします。
ソースを切断	トランスミッターからソースビデオを切断します。
移動	ビデオウォールを他のルームに移動します。利用可能なルームは次のオプションメニューにあります。

ソースパネルの制御

ルームの右側にあるソースパネルには、プロファイルリストとTxソースリストが含まれています。このセクションではTxソースリストの使用方法を説明します。プロファイルリストの詳細については、p.79「プロファイルの管理」を参照してください。

Txソースリスト

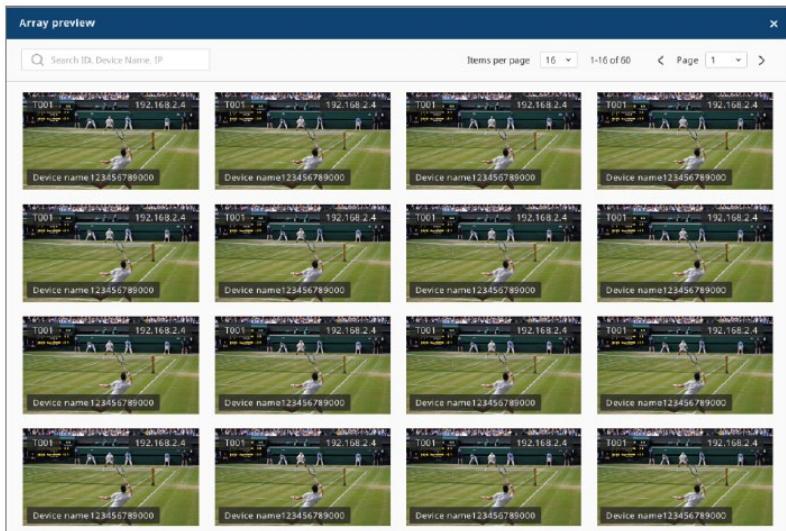
Txソースリストは、検索バー、トランスマッターリスト、アレイプレビューの3つの部分で構成されています。



番号	項目	説明
1	検索バー	特定のトランシッターを検索するためにデバイスIDまたは機器の名前を入力します。
2	アレイビュー	ウィンドウを開いて、ルームに許可されたトランシッターをすべて表示します。
3	トランシッター一覧	ルームに許可されたトランシッターを表示します。

トランシッターリストとアレイビューウィンドウのビデオサムネイルプレビューは、ライブビデオのプレビューを表示します。トランシッターリスト内のトランシッターのビデオプレビューを、対象のレシーバーまたはビデオウォールにドラッグすると、ビデオソースを割り当てます。また、ドラッグを離すと割り当てが完了します。

アレイビューウィンドウには、許可されたトランシッターから送信されたすべてのビデオを表示します。トランシッターのID、デバイス名、IPアドレスとともに、すべてのビデオソースの概要を提供します。



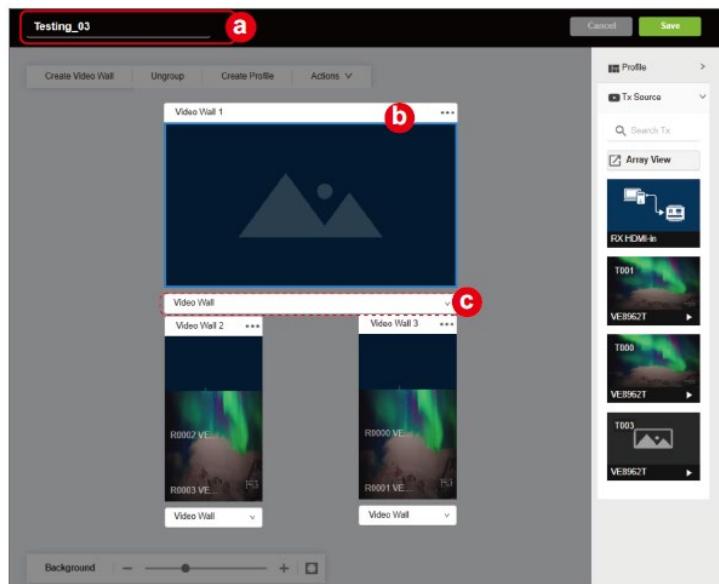
プロファイルの管理

ビデオレシーバー/ビデオウォールの設定後に現在の設定を保持したい場合は、プロファイルとして保存することができます。プロファイルを作成して手動で適用したり、日次・週次・月次の異なる時間帯にプロファイルスケジュールを設定してビデオ表示を切り替えたりすることができます。

プロファイルの作成

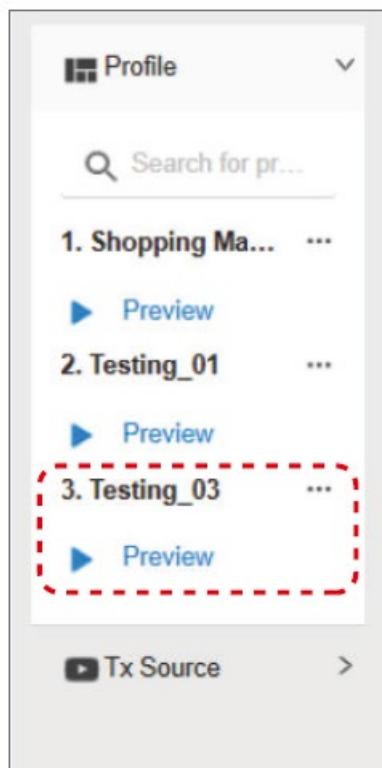
プロファイルの作成は、以下の手順に従って操作します。

1. ルームの配置領域のツールバーで「プロファイルの作成」ボタンをクリックして、プロファイルの設定画面を表示します。
2. プロファイル設定画面で、次の操作を行います。



- a) プロファイルの名前を入力します。
- b) このプロファイルに追加したいレシーバー/ビデオウォールをクリックして選択します。
- c) (オプション) 必要に応じて操作モードを変更します。

3. 「**保存**」をクリックして設定を完了します。
4. 作成済みのプロファイルは、プロファイルリストに表示されます。



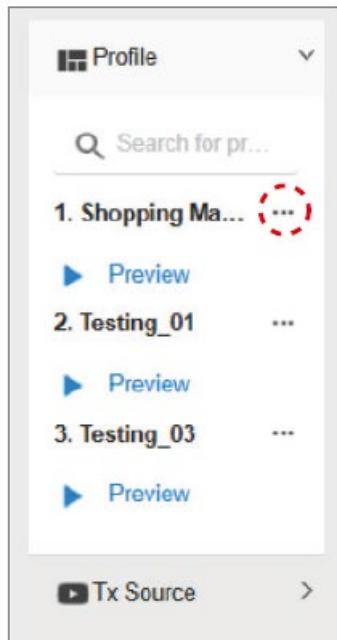
注意:

- ◆ プロファイルのレシーバーまたはビデオウォールがなくなったり削除されたりすると、プロファイルは無効になります。
 - ◆ 新規プロファイルの作成に失敗した場合、レシーバー/ビデオウォールがトランスマッターの映像ソースまたはHDMIローカル入力を受信していない可能性があります。
-

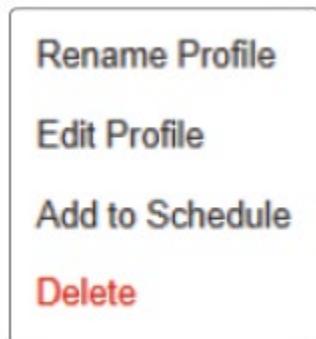
プロファイルの編集・削除

既存プロファイルの編集・削除は、次の手順で操作します。

1. プロファイルリストから詳細ボタンをクリックしてオプションメニューを開きます。



2. 実行したい機能を選択します。

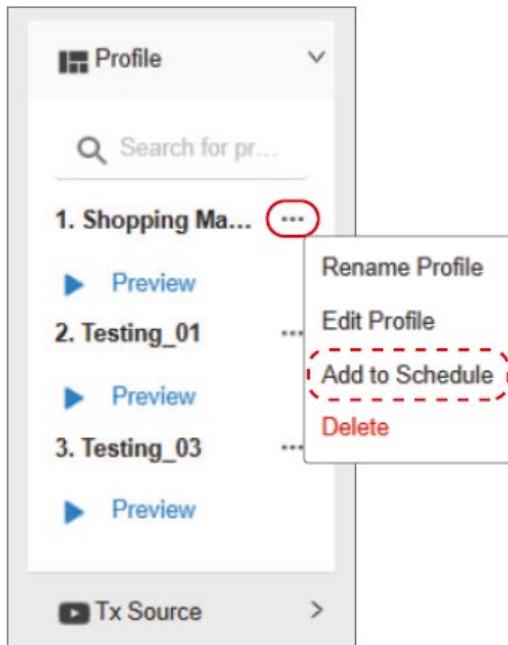


項目	説明
プロファイル名の変更	プロファイル名を編集します。
プロファイルの編集	プロファイルの設定画面を開いて変更を行います。
スケジュールに追加	プロファイルが再生されるスケジュールを設定します。プロファイルスケジュールの設定については、次のセクションの「プロファイルスケジュールの設定」を参照してください。
削除	プロファイルを削除します。クリックすると、このプロファイルの削除を確認するメッセージが表示されます。続行する場合は「削除」をクリックします。取り消す場合は「キャンセル」をクリックします。

プロファイルスケジュールの設定

以下の手順に従ってプロファイルスケジュールを設定します。

1. プロファイルリストで目的のプロファイルを見つたら、そのプロファイルの詳細ボタンをクリックしてオプションメニューを開きます。
2. 「スケジュールに追加」を選択して、「スケジュールの追加」ポップアップを開きます。



3. 必要に応じてスケジュールを設定します。

The 'Add Schedule' dialog box contains the following fields:

- Profile:** Shopping Mall Schedule
- Time:**
 - Start Time: 2025/08/11
 - End Time: 19:48 to 19:58
 - All Day
- Repeat:** Never
- Status:** On (switch is turned on)
- Buttons:** Cancel and Save

◆ プロファイル:

スケジュールに追加するプロファイルを選択します。

- ◆ **カラーコード:**
このタスクに色ラベルを割り当てます。異なる色を使用してタスクを区別します。
- ◆ **開始時刻/終了時刻:**
タスクの開始時刻と終了時刻を設定します。
- ◆ **繰り返し:**
スケジュールを繰り返す周期を選択します。
- ◆ **状態:**
タスクのスケジュールを有効または無効にします。

注意: 詳細設定については、p.90「スケジュール」を参照してください。

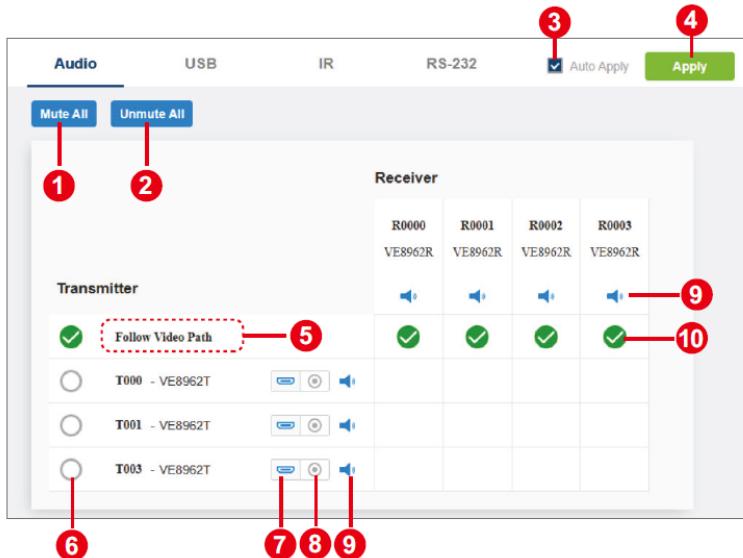
4. 「保存」をクリックしてスケジュールを保存します。

マトリックス

「マトリックス」ページは、トランシッターとレシーバー間における信号ルーティングを管理・制御するための中央インターフェースを提供します。オーディオ、USB、IR、RS-232の信号タイプをサポートし、多様なアプリケーションニーズに対応して柔軟に設定できます。このページから、特定のデバイス間で信号をパッチ接続したり、選択したチャンネルをミュートしたり、複数のエンドポイント間で設定を同期させたりできます。直感的なレイアウトにより、アクティブな経路の監視、設定のリアルタイム調整、接続された全デバイスの円滑かつ協調的な動作の確保が容易に行えます。

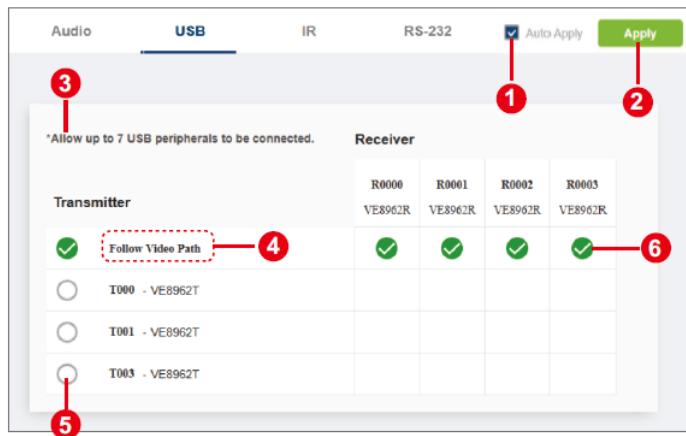
オーディオ

「オーディオ」タブページは以下の機能を提供します。



番号	項目	説明
1	すべてミュート	すべてのトランスミッターとレシーバーをミュートします。
2	すべてのミュート解除	すべてのVE8962のミュートを解除します。
3	自動適用	変更を自動的に適用します。
4	適用	クリックすると変更を保存します。
5	ビデオパスに従う	オーディオをビデオ信号と同じルーティングに設定します。
6	すべて選択	クリックすると、すべてのレシーバーを選択し、トランスミッターからオーディオ信号を取得します。
7	HDMI	HDMIとステレオ の間でオーディオソースを選択します。 デフォルト設定はHDMIです。
8	ステレオ	
9	ミュート/ミュート解除	ボタンをクリックすると、ミュートまたはミュート解除します。
10	クロスポイント	表で縦と横の交点(クロスポイント)をクリックすると、信号ルーティングバスを有効にします。無効にするには、選択済みの交点をもう一度クリックしてチェックマークを解除します。

USB



番号	項目	説明
1	自動適用	変更を自動的に適用します。
2	適用	クリックすると、変更を保存します。
3	注意書き	USB周辺機器に関する注意書きです(最大7台のUSB周辺機器を接続できます)。
4	ビデオパスに従う	<p>このオプションを選択すると、レシーバーがビデオソースを取得するトランスマッター(接続済みのトランスマッター)からUSB信号を受信します。</p> <p>注意:</p> <p>マルチスクリーンコントロールが有効になると、Rx列全体が無効になり、自動的に「ビデオパスに従う」に設定されます。これにより、USBパッチがビデオ信号に従うようになります。</p>
5	すべて選択	クリックすると、すべてのレシーバーを選択し、トランスマッタ一からUSB信号を取得します。
6	クロスポイント	表で縦と横の交点(クロスポイント)をクリックすると、信号ルーティングパスを有効にします。無効にするには、選択済みの交点をもう一度クリックしてチェックマークを解除します。

IR / RS-232

Audio USB **IR** RS-232 Auto Apply **Apply**

1 **2**

Receiver

Transmitter	R0000 VE8962R	R0001 VE8962R	R0002 VE8962R	R0003 VE8962R
<input checked="" type="checkbox"/> Follow Video Path 3	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> 5
<input type="radio"/> T000 - VE8962T				
<input type="radio"/> T001 - VE8962T				
<input type="radio"/> T003 - VE8962T 4				

Audio USB IR **RS-232** Auto Apply **Apply**

1 **2**

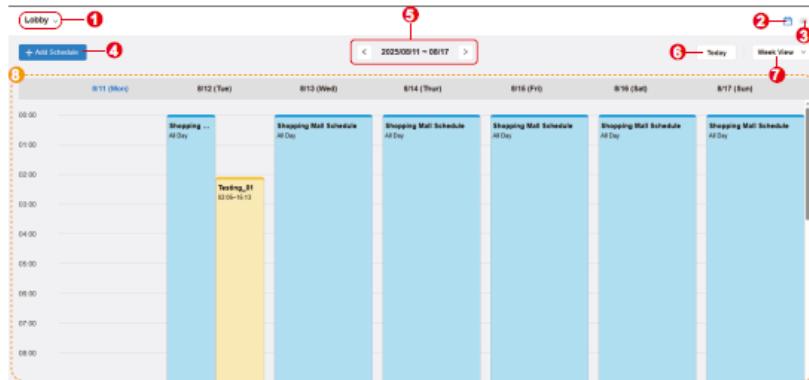
Receiver

Transmitter	R0000 VE8962R	R0001 VE8962R	R0002 VE8962R	R0003 VE8962R
<input checked="" type="checkbox"/> Follow Video Path 3	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> 5
<input type="radio"/> T000 - VE8962T				
<input type="radio"/> T001 - VE8962T				
<input type="radio"/> T003 - VE8962T 4				

番号	項目	説明
1	自動適用	変更を自動的に適用します。
2	適用	クリックすると、変更を保存します。
3	ビデオパスに従う	このオプションを選択すると、レシーバーがビデオソースを取得するトランスマッター(接続済みのトランスマッター)からIR / RS-232信号を受信します。
4	すべて選択	クリックすると、すべてのレシーバーを選択し、トランスマッターからIR/RS-232信号を取得します。
5	クロスポイント	表で縦と横の交点(クロスポイント)をクリックすると、信号ルーティングパスを有効にします。無効にするには、選択済みの交点をもう一度クリックしてチェックマークを解除します。 複数のレシーバーに対してシリアルコマンドを送信する場合は、デバイス応答メッセージのデータフローコントロール機能はなく、バースト転送が行われます。そのため、応答メッセージによっては文字化けが発生するおそれがあります。デバイスからの応答メッセージを必要とする制御通信システムの場合はクロスポイントを1対1で接続して、特定のデバイスだけとのデータ送受信ができるようにしてからご利用ください。

スケジュール

「スケジュール」ページでは、特定の日時に自動実行されるタスクを設定します。



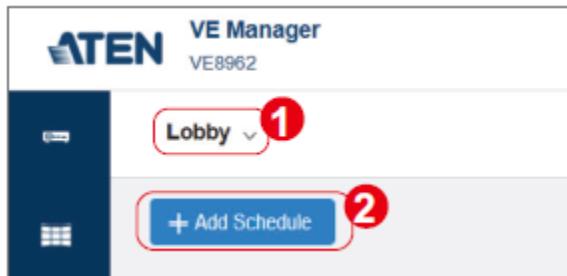
番号	項目	説明
1	ルームの選択	クリックすると、ドロップダウンメニューを展開して、すべてのルームオプションを一覧表示します。管理対象となるルームを選択すると、そのルームのスケジュールに切り替えます。
2	タイムライン表示	タスクのタイミングと所要時間を表示します。
3	リスト表示	タスクのスケジュールを一覧表示します。
4	スケジュールの追加	クリックすると、ルームで実行される新しいタスクスケジュールを作成します。
5	日付選択ツール	「次へ」ボタン(➤)や「前へ」ボタン(⏪)を使用して日付を選択します(日付は範囲指定も可)。 ◆ 日単位で表示した場合: 日付を選択すると、その日に実行するタスクを表示します。 ◆ 週単位で表示した場合: 週単位で日付範囲を選択すると、その週に実行するタスクを表示します。
6	今日に移動するボタン	クリックすると、今日または現在の週に戻ります。

番号	項目	説明
7	スケジュール表示選択	タスクカレンダー/タスクリストの表示方法(週単位または日単位)を選択します。
8	タスクカレンダー/タスクリスト	選択した週に、ルームで実行されるタスクスケジュールを表示します。

タスクスケジュールの作成

タスクスケジュールを作成するには、次の手順で操作します。

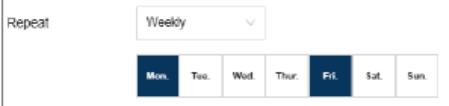
1. 「スケジュール」ページのルーム選択メニューから、ルームのスケジュールを開きます。
2. 「+ スケジュールの追加」ボタンをクリックして、「スケジュールの追加」ウィンドウを開きます。



3. 以下の項目を設定します。

The dialog box has the following settings:

- Profile:** Testing_01
- Time:**
 - Start Time: 2025/08/11 00:00
 - End Time: 23:59
 - All Day
- Repeat:** Daily
- Status:** On
- Buttons:** Cancel, Save

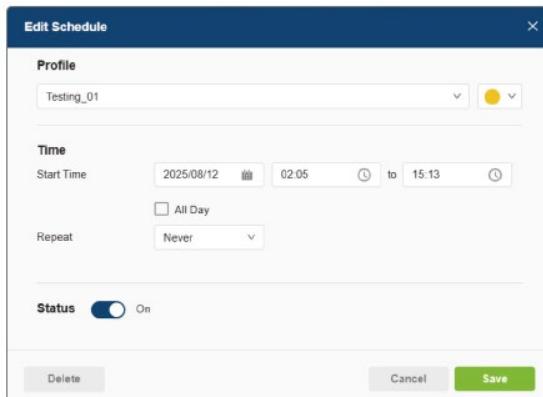
項目	説明
プロファイルの選択	タスクが再生するプロファイルを選択します。 プロファイルの管理方法についてはp.79「プロファイルの管理」を参照してください。
カラーコード	タスクに色ラベルを割り当てます。色分けによって、タスクが識別しやすくなります。
開始時刻/終了時刻	タスクの開始日時と終了日時を設定します。
終日	このタスクを終日再生する場合は、このチェックボックスをオンにします。
繰り返し	<p>予定された時間にタスクを繰り返し実行します。タスクの実行オプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ なし: タスクを1回だけ実行します。 ◆ 毎日: タスクを毎日実行します。 ◆ 毎週: タスクを毎週実行します。このオプションを選択した場合、タスクを実行する曜日をさらに指定する必要があります。  <ul style="list-style-type: none"> ◆ 每月: タスクを毎月実行します。タスクを繰り返して実行する特定の日付を設定します。 

項目	説明
繰り返し終了	タスクの期日を設定します。この項目は、繰り返しが毎日、毎週、または毎月に設定されている場合にのみ利用可能です。 ◆ なし： このオプションを有効にした場合、無期限に繰り返します。 ◆ 有効期限： タスクの実行を終了する日付を設定します。
状態	スイッチをクリックして、タスクをオンまたはオフにします。

4. 「保存」ボタンをクリックしてタスクの作成を完了します。作成済みのタスクは、タスクリストに表示されます。

スケジュールタスクの管理

既存のタスクを編集するには、タスクリストで編集対象となるタスクをダブルクリックし、「スケジュールの編集」ポップアップを開きます。



「スケジュールの編集」ポップアップでは、以下の操作が可能です。

- ◆ タスクを変更・保存する。
- ◆ 「削除」ボタンをクリックして、タスクリストからタスクを削除する。
- ◆ 「ステータス」スイッチをオンまたはオフにして、このタスクをアクティブまたは非アクティブにする。

ユーザー

「ユーザー」ページは、アドミニストレーターにアカウントを作成・編集・管理するためのツールを提供します。また、各アカウントに対して、システム機能への特定のアクセスレベルを割り当てることもできます。利用可能なユーザーロールは2つあります。アドミニストレーターはすべてのルームとページに対して、完全な制御と編集権限を持ちます。一方、ユーザーは、アドミニストレーターによって割り当てられたルームのみへのアクセスに制限されています。この構造によって、異なる運用ニーズに対応しながら、システムアクセスの安全で効率的な管理を保証します。

「ユーザー」ページにおいて、アドミニストレーターのロールのアカウントは以下の操作が行えます。

- ◆ ユーザーを確認・追加・編集・削除する。
- ◆ VEマネージャーへのアクセス用アカウントのパスワードを変更する。
- ◆ ユーザーアカウントにユーザーロールを割り当てる。

ユーザーロールの種類

VEマネージャーは、異なる権限レベルを持つ2つのユーザーロールを提供します。アカウントを作成する際、アドミニストレーターは、ユーザーロールをアドミニストレーターまたは一般ユーザーとして割り当てることができます。

アカウントの認証レベルの相違点は下表のとおりです。

ユーザーロール	アクセス権					
	デバイス	ルーム	マトリックス	スケジュール	ユーザー	メンテナンス
一般ユーザー		✓		✓		
アドミニストレーター	✓	✓	✓	✓	✓	✓

注意:

権限が一般ユーザーに設定されているアカウントは、アドミニストレーターによって許可されたルームにのみアクセス可能です。

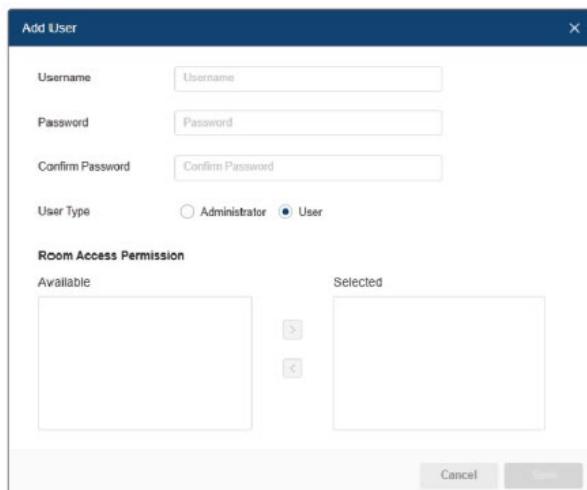
ユーザー アカウントの管理

「ユーザー」ページはアドミニストレーターのアカウントのみがアクセス可能です。ユーザー アカウントを作成・編集・削除するには、アドミニストレーターのアカウントでブラウザーのリモートアクセス画面にログインする必要があります。

新規ユーザー アカウントの作成

新しいユーザー アカウントを作成するには、以下の手順に従ってください。

1. 「ユーザー」ページで「ユーザーの追加」ボタンをクリックして、「ユーザーの管理」ポップアップを開きます。



2. ユーザーネームとパスワードを設定し、ユーザータイプを指定します。
3. ルームに対するアカウントのアクセス権限を設定します。

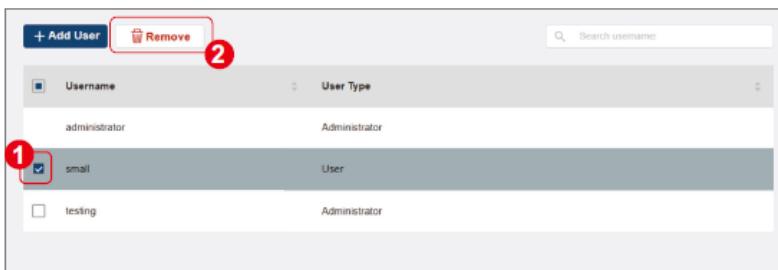
注意:

アドミニストレーターはすべてのルームにアクセスできます。一方、ユーザーは割り当てられたルームへのアクセスのみに制限されています。

-
4. 新規アカウントを作成する場合は、「保存」をクリックします。また、作成を中止する場合は、「キャンセル」をクリックします。

既存アカウントの削除

既存のアカウントを削除するには、次の手順で操作します。



1. 削除対象となるアカウントをユーザー アカウントリストから選択します。
2. 「削除」ボタンをクリックして、選択したアカウントを削除します。

注意:

アドミニストレーターのアカウントは、自分のエントリーをユーザーリストから削除できません。このため、ログイン中のアドミニストレーターのアカウントのチェックボックスはリストで非表示となります。

既存アカウントの編集

既存のアカウントを編集するには、次の手順で操作します。

1. ユーザー アカウントのリストで、対象となるアカウントをダブルクリックして、そのアカウントの「ユーザー管理」ポップアップを開きます。
2. 必要な変更を行って、保存します。

メンテナンス

「メンテナンス」ページでは、VE8962のシステム時刻の設定、VE8962本体の設定、本体のファームウェアアップグレード、設定のバックアップが可能です。

全般設定

「全般」タブでは、日時、パネルロック、CLIの設定が行えます。

The screenshot shows the 'Maintenance' configuration interface with the 'General' tab selected. It includes sections for Date / Time, Preference, CLI, and Account Lockout Policy.

Date / Time

Date & Time: 2025/06/09 18:09:00
 Sync with Computer Time

Preference

Disconnected View: ATEN Logo Monitor's No Signal Screen Black Screen

Panel Lock: Never Auto Lock

CLI

Login: Off On
Timeout: 5min
CLI Protocol: SSH only SSH + Telnet

Account Lockout Policy

Account Lockout: Enable Disable
Maximum Invalid Login Attempts: 3

「適用」ボタンをクリックすると、変更を保存します。

日時

設定	説明
日時	日付選択ツールと時間選択ツールを使って日時を設定します。 注意: この機能は手動モードが有効な場合にのみ利用可能です。
コンピューターの時刻と同期	リモートアクセスしているコンピューターの時刻と同期したい場合は、このボタンをクリックして設定を行います。

設定

設定	説明
切断ビュー	入力ビデオソースの信号が止まった時に表示する画面を設定します。
パネルロック	「自動ロック」を選択すると、すべてのVE8962の液晶操作画面をロックします。

CLI

設定	説明
ログイン	オンを選択すると、コンピューターからRS-232/Telnetインターフェースを使用してVE8962にリモートログインし、コマンド操作で切り替えられるようになります。
タイムアウト	CLIセッションが終了するまでのアイドル時間を指定します。
CLIプロトコル	CLIへのアクセスに使用するプロトコルを選択します。 ◆ SSHのみ: CLIアクセスをSSHプロトコルに制限します。 ◆ SSH + Telnet: SSHとTelnetプロトコルの両方を通じてCLIにアクセスできます。

アカウントのロックアウトポリシー

設定	説明
アカウントのロック	ユーザー アカウントのロック機能を有効または無効にします。有効にした場合は、指定した回数のサインイン失敗後にユーザー アカウントをロックします。
最大無効ログイン試行回数	アカウントのロック前に許可される最大ログイン失敗回数を指定します。
アカウントロックアウト時間(分)	ロック済みのアカウントが自動的にロック解除されるまでの待機時間を、分単位で設定します。

プライマリーデバイスとして設定 & 他のすべてのデバイスと同期

「実行」ボタンをクリックすると、現在ログインしているデバイスをプライマリコントローラーとして設定し、このコントローラーの設定を他のすべてのデバイスと同期します。

SSL証明書

このセクションを使用して、SSL証明書と対応する秘密鍵をアップロードし、安全な HTTPS 通信を行います。

システムログ

この機能を使用すると、システムログをテキストファイル(.txt)としてダウンロードして確認できます。ログには、システムの起動、認証アクティビティ、ファームウェア操作(実行、アップロード、アップグレード、完了など)といった重要なイベントが記録され、タイムスタンプや関連するデバイス識別子も含まれているため、トラブルシューティングや監査に利用できます。

ファームウェアアップグレード

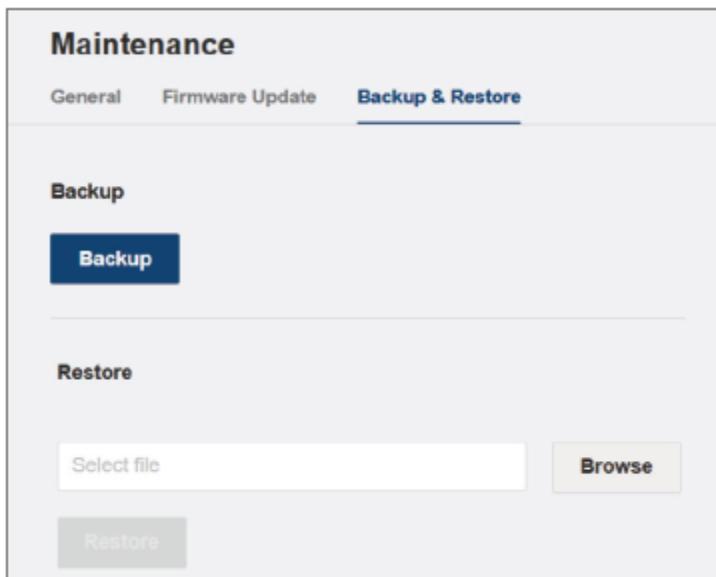
VE8962のファームウェアをアップグレードするには、以下の手順で操作します。

The screenshot shows the 'Maintenance' interface with the 'Firmware Update' tab selected. At the top, there are three tabs: 'General', 'Firmware Update', and 'Backup & Restore'. Below the tabs is a 'Selected firmware file' input field with a 'Browse' button next to it. A red box highlights the main content area, which is a table with columns: ID, Device Name, IP, Firmware, and Status. The table lists seven devices, each with a checkbox in the first column. The first row (R000) has its checkbox highlighted with a red box and labeled '1'. The 'Browse' button is labeled '2' and the 'Update' button is labeled '3'.

ID	Device Name	IP	Firmware	Status
R000	VE8962R	169.254.0.100	V1.0.092	
T000	VE8962T	169.254.0.200	V1.0.092	
T001	VE8962T	169.254.0.201	V1.0.092	
R0001	VE8962R	169.254.0.101	V1.0.092	
R0002	VE8962R	169.254.0.102	V1.0.092	
R0003	VE8962R	169.254.0.103	V1.0.092	
T003	VE8962T	169.254.0.203	V1.0.092	

1. ファームウェアのアップグレード対象となるデバイスを選択します。
2. 「参照」ボタンをクリックして、PC内のファームウェアファイルを見つけます。
3. 「更新」をクリックしてアップグレードを開始します。

バックアップと復元



バックアップは、システム設定のコピーを保存する操作です。また、復元は、過去に保存されたバックアップファイルを読み込んでシステム設定を回復する操作です。

- ◆ バックアップファイルから設定を復元するには、機器の台数、Tx/Rxモード、およびMACアドレスがバックアップ内の情報と一致している必要があります。
- ◆ ネットワーク設定(IPアドレスとサブネットマスク)は復元されません。
- ◆ 復元プロセスが完了すると、すべてのVE8962が再起動します。

付録

安全にお使いいただくために

全般

- ◆ 本製品は、屋内での使用に限ります。
- ◆ 製品に同梱のすべてのドキュメントに目を通してください。またドキュメント類は、後で見返せるようにすべて保存してください。
- ◆ デバイスに記載されている警告や指示に従ってください。
- ◆ デバイスを不安定な面(カート、簡易スタンド、テーブルなど)に置かないでください。デバイスが落下すると、深刻な損傷が生じます。
- ◆ デバイスを水の近くで使用しないでください。
- ◆ デバイスを冷却装置や加熱機器の近く、またはその上に置かないでください。
- ◆ 排熱機構のないデバイスを、組み込みエンクロージャーに置かないでください。
- ◆ デバイスにいかなる種類の液体もこぼさないでください。
- ◆ 本体のお手入れの際には、デバイスのプラグを壁のコンセントから抜いてください。液体やスプレー式のクリーナーは使用しないでください。お手入れには、湿らせて固く絞った布を使用してください。
- ◆ デバイスは、マーキングラベルに示されたタイプの電源で動作させる必要があります。利用可能な電源の種類がご不明な場合は、販売店もしくは最寄りの電力会社にお問い合わせください。
- ◆ システムへの損傷を避けるために、すべてのデバイスを適切に接地することが重要です。
- ◆ 電源コードやケーブルの上に物を置かないでください。電源コードやケーブルを踏んだり、これらにつまずいたりしないよう、配線してください。
- ◆ 映像・ネットワーク・電源用のケーブルは、丁寧に取り扱ってください。ケーブルの上には何も置かないでください。
- ◆ 本体の端子に物を押し込まないでください。危険な電圧ポイントへの接触や、部品のショート、また、火災や電気的な衝撃の危険性があります。

- ◆ 装置をご自身で修理せず、ご不明な点がございましたら技術サポートまでご相談ください。保守については、適格な保守担当者にお問い合わせください。
- ◆ 下記の現象が発生した場合、デバイスのプラグを壁のコンセントから抜いて、技術サポートに修理を依頼してください。
 - 電源コードやプラグが損傷したり擦り切れたりしている。
 - デバイスに液体がこぼれた。
 - デバイスが雨や水に濡れた。
 - デバイスが落下した、またはキャビネットが破損している。
 - デバイスの動作に異変が見られる。(修理が必要です)
 - 製品マニュアルに従って操作しているにもかかわらず、正常に動作しない。
- ◆ 修理が必要となる故障が発生するおそれがありますので、必ず製品マニュアルに従って操作してください。マニュアルに記載されていない方法で調整を行うと、修理資格のある技術者による広範な作業を必要とするおそれがあります。

ラックへのマウント

- ◆ ラックでの作業を行う前に、スタビライザーがラックと床に固定されていることと、ラックの重心が安定していることを確認してください。
- ◆ ラックへの機器搭載は、必ず下から上に向かって行ってください。また、最も重いアイテムを下から搭載してください。
- ◆ デバイスを拡張する前にラックが水平で安定していることを確認してください。
- ◆ ラックに供給する電源が過負荷にならないようご注意ください。ラック全体の電源負荷は最大でも80%を越えないように設定する必要があります。
- ◆ ラックにマウントされたデバイスは、電源タップも含め、すべて正しく接地されていることを確認してください。
- ◆ ラックからの排熱やラックへの通気が十分に行えるようにしてください。
- ◆ 本製品で定められている保管温度の範囲内で使用できるように、ラックが設置されている場所の室温を調節してください。
- ◆ ラックに設置されているデバイスが動作している際に、デバイスを踏んだりデバイスによじ登ったりしないでください。

技術サポート

インターナショナル

- ◆ オンラインでの技術サポート(トラブルシューティング、マニュアル、およびソフトウェアアップデートを含む)の場合: <http://support.aten.com>
- ◆ 電話によるサポートについては、p.iiを参照してください。

北米

Eメールサポート		support@aten-usa.com
オンライン	ドキュメント	http://www.aten-usa.com/support
テクニカルサポート	ソフトウェア更新 トラブルシューティング	
電話によるサポート		1-888-999-ATEN 内線 4988

お問い合わせいただく際には、あらかじめ以下の情報をご用意ください。

- ◆ 製品型番、シリアル番号、購入日
- ◆ OS、リビジョンレベル、拡張カード、およびソフトウェアを含むコンピューター構成
- ◆ エラー発生時に表示されるメッセージ
- ◆ エラーに至るまでの操作の順序
- ◆ 他にも役立つと思われる情報

仕様

VE8962T

機能	VE8962T
ビデオ入力	
インターフェース	HDMI Type-A メス × 1(Black)
インピーダンス	100 Ω
最大距離	5m
ビデオ出力	
インターフェース	N/A
インピーダンス	N/A
最大距離	N/A
ビデオ	
最大データ伝送速度	平均: 500~800Mbps
規格準拠	HDMI(4K60p) HDCP2.3 & HDCP2.2 互換
最大解像度/延長距離	最大4K60p@100m(Cat 5e/6ケーブルを使用して1対1で接続した場合) *サポートされる4K解像度: 4096 × 2160 / 3840 × 2160 @ 60Hz(4:4:4)
ビデオ圧縮	最適化されたJPEG2000、独自のコーデック
遅延時間	1フレーム未満
オーディオ	
入力	HDMI Type-A メス × 1(Black) ステレオミニジャック メス × 1(Green)
出力	N/A

機能	VE8962T
コネクター	
ユニット間接続	RJ-45 メス × 1 または SFP+ソケット × 1(SFP+モジュールは別売り)
電源	ロック式DCジャック × 1(Black) またはRJ-45 × 1(PoE+対応)
制御	
IRチャンネル	双方向ステレオミニジャック メス × 2(Black)
RS-232	コネクター: 3極ターミナルブロック × 1 ポーレート: 19200 データビット: 8 ストップビット: 1 パリティー: なし フロー制御: なし
USBチャンネル	USB Type-B メス × 1(White)
接点入力	N/A
プッシュボタン	
操作モード選択	LCM操作用プッシュボタン × 3
LED	
電源	DC入力LED × 1(Green) PoE LED × 1(Green)
消費電力	DC5V: 4.35W
動作環境	
動作温度	0～40°C
保管温度	-20～60°C
湿度	0～80%RH、結露なきこと

機能	VE8962T
ケース	
ケース材料	メタル
重量	0.73 kg
ブラケット付サイズ (W×D×H)	170.2 × 146.9 × 30.0 mm
ブラケット無サイズ (W×D×H)	166 × 124.9 × 29 mm

VE8962R

機能	VE8962R
ビデオ入力	
インターフェース	HDMI Type-A メス × 1 (Black)
インピーダンス	100 Ω
最大距離	5m
ビデオ出力	
インターフェース	HDMI Type-A メス × 1 (Black)
インピーダンス	100 Ω
最大距離	5m
ビデオ	
最大データ伝送速度	平均: 500～800Mbps
規格準拠	HDMI(4K60p) HDCP2.3 & HDCP2.2 互換
最大解像度/延長距離	最大4K60p@100m(Cat 5e/6ケーブルを使用して1対1で接続した場合) *サポートされる4K解像度: 4096 × 2160 / 3840 × 2160 @ 60Hz (4:4:4)
ビデオ圧縮	最適化されたJPEG2000、独自のコーデック
遅延時間	1フレーム未満
オーディオ	
入力	N/A
出力	HDMI Type-A メス × 1 (Black) ステレオミニジャック メス × 1 (Green)

機能	VE8962R
コネクター	
ユニット間接続	RJ-45 メス × 2 (PoE+対応 × 1、デイジーチェーン対応 × 1) または SFP+ソケット × 1 (SFP+モジュールは別売り)
電源	ロック式DCジャック × 1 (Black) またはRJ-45 × 1 (PoE+対応)
制御	
IRチャンネル	双方向ステレオミニジャック メス × 2 (Black)
RS-232	コネクター: 3極ターミナルブロック × 1 ボーレート: 19200 データビット: 8 ストップビット: 1 パリティー: なし フロー制御: なし
USBチャンネル	USB Type-A メス × 2 (Black)
接点入力	コネクター: 2極ターミナルブロック × 1 (接点入力 + GND)
プッシュボタン	
操作モード選択	LCM操作用プッシュボタン × 3
LED	
電源	DC入力LED × 1 (Green) PoE LED × 1 (Green)
消費電力	DC5V: 9.1W
動作環境	
動作温度	0～40°C
保管温度	-20～60°C
湿度	0～80%RH、結露なきこと

機能	VE8962R
ケース	
ケース材料	メタル
重量	0.74 kg
ブラケット付サイズ(W×D×H)	170.2 × 146.9 × 30.0 mm
ブラケット無サイズ(W×D×H)	166 × 124.9 × 29 mm

対応ブラウザー

サポートされているウェブブラウザーとそのバージョンについては、以下の表を参照してください。

ウェブブラウザー	対応バージョン
Google Chrome	60.0.3112以降
Mozilla Firefox	54.0.1以降
Opera	46以降

ATEN保証ポリシー

製品の保証内容は、製品カテゴリー・購入国・地域・販売店によって異なります。そのため、保証条件やサポート範囲を確認する際は、次の順序でご確認ください。

1. まずは、購入元(販売店または代理店)へ、購入時点の契約条件や保証期間、購入元が提供する付帯サービスなどをご確認ください。
2. ATEN の公式ウェブサイトで、購入した国／地域を選択し、該当するセンターの情報と製品保証規定ページをご確認ください。購入国ごとに保証ポリシーや対応窓口が異なりますので、購入元のサービス内容と保証規定を確認してください。

さらに技術的な支援や手続きが必要な場合は、最寄りの ATEN 営業担当者またはサポート窓口へお問い合わせください。

© 著作権2022ATEN International Co., Ltd.

リリース:2025-08-12

ATENおよびATENロゴは、ATEN International Co., Ltdの登録商標です。無断転載を禁じます。その他すべてのブランド名および商標は、それぞれの所有者の登録商標です。